

Press Release

平成28年2月9日
照会先 健康局がん・疾病対策課
課長補佐 清 住 (内線4605)
課長補佐 大 谷 (内線3827)
(代表番号)03-5253-1111

第11回がん診療連携拠点病院等の指定に関する検討会の審議結果について

標記検討会の審議結果をお知らせいたします。(詳細は別紙)

がん診療連携拠点病院	
新規指定	2施設
指定更新	35施設
地域がん診療病院	
新規指定	9施設

この結果、全国のがん診療連携拠点病院の数は399施設(都道府県がん診療連携拠点病院49施設、地域がん診療連携拠点病院349施設、特定領域がん診療連携拠点病院1施設)、地域がん診療病院の数は28施設となりました。

指定区分	都道府県	がん診療連携拠点病院(★は都道府県がん診療連携拠点病院)
新規指定	宮城県	みやぎ県南中核病院
	神奈川県	独立行政法人労働者健康福祉機構 関東労災病院
指定更新	北海道	★独立行政法人国立病院機構 北海道がんセンター
		札幌医科大学附属病院
	青森県	三沢市立三沢病院
	秋田県	大館市立総合病院
	福島県	一般財団法人慈山会医学研究所付属坪井病院
		会津中央病院
	群馬県	伊勢崎市民病院
	埼玉県	さいたま市立病院
	千葉県	順天堂大学医学部附属浦安病院
		独立行政法人労働者健康福祉機構 千葉労災病院
	東京都	青梅市立総合病院
		公立昭和病院
	神奈川県	川崎市立井田病院
		小田原市立病院
	新潟県	新潟県立新発田病院
		新潟市民病院
		独立行政法人労働者健康福祉機構 新潟労災病院
	富山県	黒部市民病院
		独立行政法人労働者健康福祉機構 富山労災病院
	石川県	金沢医科大学病院
		国民健康保険 小松市民病院
	長野県	★国立大学法人 信州大学医学部附属病院
	京都府	市立福知山市民病院
	兵庫県	独立行政法人国立病院機構姫路医療センター
		兵庫県立淡路医療センター
	奈良県	市立奈良病院
	和歌山県	紀南病院
	鳥取県	★国立大学法人 鳥取大学医学部附属病院
		独立行政法人国立病院機構 米子医療センター
	島根県	松江赤十字病院
岡山県	独立行政法人国立病院機構 岡山医療センター	
山口県	山口県厚生農業協同組合連合会 周東総合病院	
大分県	大分赤十字病院	
	★国立大学法人 大分大学医学部附属病院	
	大分県済生会日田病院	

指定区分	都道府県	地域がん診療病院(グループ指定先医療機関)
新規指定	千葉県	地方独立行政法人さんむ医療センター(旭中央病院)
	長野県	独立行政法人国立病院機構 信州上田医療センター(信州大学医学部附属病院)
		長野県立木曾病院(信州大学医学部附属病院)
	静岡県	国際医療福祉大学熱海病院(静岡県立静岡がんセンター)
		富士市立中央病院(静岡県立静岡がんセンター)
	福岡県	福岡大学筑紫病院(福岡大学病院)
		一般社団法人朝倉医師会 朝倉医師会病院(久留米大学病院)
	鹿児島県	社会医療法人義順顕彰会 田上病院(国立大学法人 鹿児島大学病院)
沖縄県	沖縄県立八重山病院(沖縄県立中部病院)	

第11回がん診療連携拠点病院等の指定に関する検討会(H28.1.29) 配布資料(抜粋)

資料3

(第10回がん診療連携拠点病院等の指定に関する検討会 資料4)

がん診療連携拠点病院等の指定の考え方

1. 指定要件について

指定に当たっては、原則、「がん診療連携拠点病院等の整備について」(平成26年1月10日付け健発0110第7号厚生労働省健康局長通知)(以下「指針」という。)に定める要件を充足していることとする。

2. 2次医療圏とがん診療連携拠点病院、特定領域がん診療連携拠点病院、地域がん診療病院の考え方について

指針において、「都道府県拠点病院にあつては、都道府県に1カ所、地域拠点病院にあつては、2次医療圏(都道府県拠点病院が整備されている2次医療圏を除く。)に1カ所、地域がん診療病院にあつては基本的に隣接する2次医療圏のがん診療連携拠点病院との連携を前提にグループとして指定(以下「グループ指定」という。)することにより、がん診療連携拠点病院の無い2次医療圏に1カ所整備するものとする。また、特定のがんについて、当該都道府県内の最も多くの患者を診療する特定領域拠点病院を整備するものとする。ただし、当該都道府県におけるがん診療の質の向上及びがん診療の連携協力体制の整備がより一層図られることが明確である場合には、この限りでないものとする。」と定められている。

(1) がん診療連携拠点病院について

a) ただし書きについては、これまでの検討会を踏まえると、以下のような場合が考えられる。

- 当該病院を指定することによって、当該医療圏や都道府県のがん診療体制に期待される相乗効果が、都道府県の推薦意見書に数値目標などをうい記載されていること。
- 多くのがん患者を診ていることや当該2次医療圏の人口が多いということだけでなく、がん患者の通院圏域、拠点病院間の役割分担、多くのがん患者が他の2次医療圏より流入するなど隣接する医療圏との関係等について、都道府県より十分な説明があること。

b) 診療実績がない場合の考え方について

- 指針において、「我が国に多いがん(肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん及び乳がんをいう。以下同じ。)及びその他各医療機関が専門とするがんについて、手術、放射線治療及び化学療法を効果的に組み合わせた集学的治療及び緩和ケア(以下「集学的治療等」という。)を提供する体制を有するとともに、各学会の診療ガイドラインに準ずる標準的治療(以下「標準的治療」という。)等がん患者の状態に応じた適切な治療を提供すること。」と定められている。
- 「集学的治療及び緩和ケアを提供する体制」については、これまで肺がん等で報告期間において診療実績(特に手術)がなくとも、当該医療圏の状況等を勘案し指定された病院はある。

(2) 特定領域がん診療連携拠点病院について

指針に基づく新設の病院。原則、がん診療連携拠点病院の要件を満たすことが求められる（がんの種類に応じて必要な治療法が異なる可能性があるため、指定にあたっては地域がん診療連携拠点病院の要件のうち満たしていない項目がある場合には、個別に指定の可否を検討する。）。

特定のがんについて当該都道府県内で最も多くの患者を診療していることについて、具体的な数値を用いつつ説明が求められる。

(3) 地域がん診療病院について

指針に基づく新設の病院。地域がん診療病院は、がん診療連携拠点病院のない2次医療圏に、がん診療連携拠点病院とのグループ指定により原則1箇所整備することとしている。当該病院を指定することによる当該医療圏や都道府県のがん診療提供体制に期待される相乗効果や、グループとなるがん診療連携拠点病院との連携内容について、説明が求められる。

新規指定推薦・指定更新推薦の医療機関について

【各施設のマークについて】

「○」は空白の2次医療圏からの推薦または地域がん診療病院を拠点病院として推薦

「△」は既に1箇所以上の拠点病院が指定されている2次医療圏からの推薦

「◆」は地域がん診療病院として推薦

「#」は1年更新の医療機関のうち、現況報告書で指定要件を充足していない等の理由で
今回ヒアリングを行う医療機関

【新規指定推薦・指定更新推薦状況】

14都府県 計21医療機関 (○1 △6 ◆10 #4)

宮城県 現在、4医療圏に対し7拠点病院、1地域がん診療病院

○ みやぎ県南中核病院 (現在地域がん診療病院：仙南保健医療圏)

東北薬科大学病院 (仙台保健医療圏)

埼玉県 現在、10医療圏に対し13拠点病院

△ 医療法人 社団愛友会 上尾中央総合病院 (県央保健医療圏)

千葉県 現在、9医療圏に対し12拠点病院

△ 東邦大学医療センター佐倉病院 (印旛保健医療圏)

◆ 独立行政法人 さんむ医療センター (山武長生夷隅保健医療圏)

東京都 現在、13医療圏に対し25拠点病院、地域がん診療病院1

△ 社会福祉法人 三井記念病院 (区中央部保健医療圏)

神奈川県 現在、11医療圏に対し17拠点病院

△ 独立行政法人 労働者健康福祉機構 関東労災病院 (川崎南部保健医療圏)

長野県 現在、10医療圏に対し8拠点病院、1地域がん診療病院

◆ 独立行政法人国立病院機構 信州上田医療センター (上小保健医療圏)

◆ 長野県立木曽病院 (木曽保健医療圏)

静岡県 現在、8医療圏に対し10拠点病院

- ◆ 国際医療福祉大学熱海病院 (熱海伊東保健医療圏)
- ◆ 富士市立中央病院 (富士保健医療圏)

三重県 現在、4医療圏に対し5拠点病院

- # 独立行政法人国立病院機構 三重中央医療センター (中勢伊賀保健医療圏)

大阪府 現在、8医療圏に対し17拠点病院

- △ 一般財団法人 大阪府警察協会 大阪警察病院 (大阪市保健医療圏)

福岡県 現在、13医療圏に対し15拠点病院

- ◆ 福岡大学筑紫病院 (筑紫保健医療圏)
- ◆ 一般社団法人 朝倉医師会 朝倉医師会病院 (朝倉保健医療圏)

長崎県 現在、8医療圏に対し6拠点病院

- △ 独立行政法人地域医療機能推進機構 諫早総合病院 (県央保健医療圏)

大分県 現在、6医療圏に対し7拠点病院

- # 大分赤十字病院 (中部保健医療圏)
- # 大分市医師会立アルメイダ病院 (中部保健医療圏)

鹿児島県 現在、9医療圏に対し9拠点病院、1地域がん診療病院、
1特定領域

- ◆ 社会医療法人義順顕彰会 田上病院 (熊毛保健医療圏)

沖縄県 現在、5医療圏に対し3拠点病院、1地域がん診療病院

- ◆ 公益社団法人 北部地区医師会 北部地区医師会病院 (北部保健医療圏)
- ◆ 沖縄県立八重山病院 (八重山保健医療圏)

第11回がん診療連携拠点病院等の指定に関する検討会

都道府県プレゼンテーション資料等（抜粋）

宮城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、長野県、静岡県、
三重県、大阪府、福岡県、長崎県、大分県、鹿児島県、沖縄県

※下線の都府県（△：既に拠点病院が指定されている医療圏から
新規指定を推薦した都府県）のみ抜粋

埼玉県

資料 1

埼玉県 2次医療圏の概要

平成27年9月1日現在

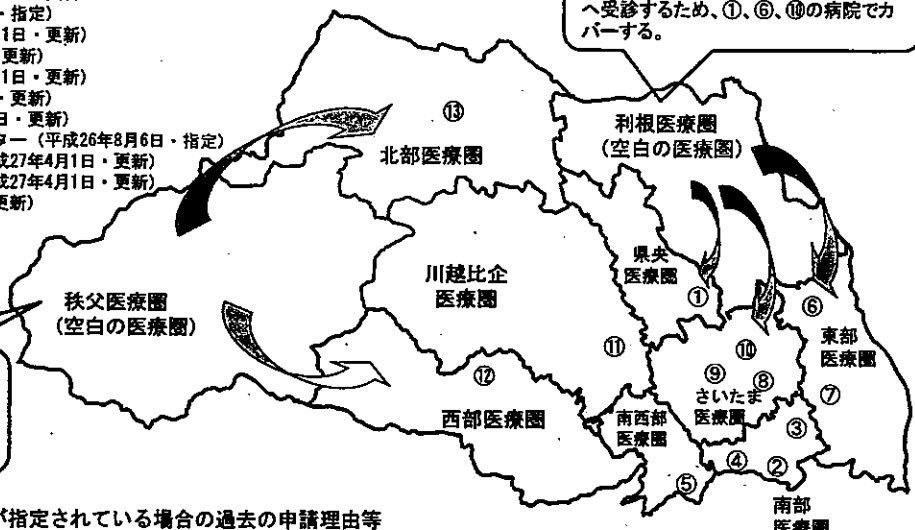
2次医療圏名	面積 (km ²)	人口	人口 割合(%)	人口密度	病院数	がん診療連携拠点病院			
						現況報告 病院数	今回更新 病院数	新規申請 病院数	計
南部	85.25	780,289	10.8%	9153.0	28	3	0	0	3
南西部	110.95	712,018	9.8%	6417.5	29	1	0	0	1
東部	249.71	1,137,059	15.7%	4553.5	49	2	0	0	2
さいたま	217.43	1,259,723	17.4%	5793.7	37	2	1	0	3
県央	172.91	527,887	7.3%	3053.0	19	1	0	1	2
川越比企	626.53	798,144	11.0%	1273.9	50	1	0	0	1
西部	406.32	781,138	10.8%	1922.5	55	1	0	0	1
利根	473.95	646,190	8.9%	1363.4	33	0	0	0	0
北部	562.12	509,577	7.0%	906.5	34	1	0	0	1
秩父	892.62	101,337	1.4%	113.5	9	0	0	0	0
計	3797.79	7,253,362	100%	34550.4	343	12	1	1	14

埼玉県 平成27年 9月 1日現在の指定状況と患者受療動向

- ①埼玉県立がんセンター★ (平成27年4月1日・更新)
- ②済生会川口総合病院 (平成27年4月1日・更新)
- ③川口市立医療センター (平成27年4月1日・更新)
- ④戸田中央総合病院 (平成27年4月1日・指定)
- ⑤国立病院機構埼玉病院 (平成27年4月1日・更新)
- ⑥春日部市立病院 (平成27年4月1日・更新)
- ⑦獨協医科大学越谷病院 (平成27年4月1日・更新)
- ⑧さいたま市立病院 (平成27年4月1日・更新)
- ⑨さいたま赤十字病院 (平成27年4月1日・更新)
- ⑩自治医科大学附属さいたま医療センター (平成26年8月6日・指定)
- ⑪埼玉医科大学総合医療センター (平成27年4月1日・更新)
- ⑫埼玉医科大学国際医療センター (平成27年4月1日・更新)
- ⑬深谷赤十字病院 (平成27年4月1日・更新)

利根医療圏に住むがん患者は、県央医療圏、さいたま医療圏又は東部医療圏へ受診するため、①、⑥、⑩の病院でカバーする。

秩父医療圏に住むがん患者は、西部医療圏又は北部医療圏へ受診するため、⑭、⑮の病院でカバーする。



※同一医療圏に複数の拠点病院が指定されている場合の過去の申請理由等

- さいたま医療圏
当該医療圏には、県圏域に非常に多くの人口を抱えていることから、質の高いがん医療の提供のためには、この地域には複数の配置が適当。
⑧⑨⑩の病院は市内バランスよく位置し、⑩の病院はさいたま医療圏内の患者を主体に、⑨⑩の病院は近隣医療圏からも多くの患者を受け入れている。
- 東部医療圏
当初指定の⑥の病院は圏域として北部に偏っており、利根医療圏のがん医療提供機能を補完するものの、人口集中地域の南部地域の県民の拠点機能として不十分。⑦の病院の指定で南部地域のがん医療の提供がなされ、東部地域のがん医療提供の均てん化が図られる。
- 南部医療圏
全国医療圏の平均人口と比べても2倍以上の多くの人口を抱えていることから、この地域には2か所以上の配置が適当。
②の病院は、県内有数のPET-CTを導入。③の病院は、乳がん、肺がんの手術を多く実施。いずれもこの分野で県東南部の病院からの紹介を多数受ける。
④の病院は、県内にも数少ない内視鏡手術支援ロボット（ダ・ヴィンチ）や緩和ケア病棟を有している。

がん診療連携拠点病院及び特定領域がん診療連携拠点病院

- ・ () 内は平成26年10月末日提出の数値、下段は平成27年10月末日提出の数値
- ・ 申請区分は資料4の作成要領を参照のこと
- ・ 1枚につき11病院を超える場合には、複数枚にわたって表を作成してください。
- ・ ※1については、ESD+EMRの合計数を記載すること。

都道府県 申請区分 or 地域 or 特定	申請区分 病院名	年間入院患者数の状況		院内がん登録	手術件数 (臓器別手術件数は4ヶ月分)															がんに係る放射線診療の割合			緩和ケア	がん相談支援センター
		前年度	今年度		胃がん	大腸がん	肺癌	乳がん	子宮がん	膵臓がん	胆膵がん	腎臓がん	泌尿器がん	皮膚がん	骨髄腫	多発性骨髄腫	脳腫瘍	化学療法	放射線治療	割合				
																					ESD	EMR		
1	埼玉県立がんセンター	前年度	6120	6563	4071	4953	(0)	(7)	(27)	(4)	(33)	(21)	(42)	(39)	(10)	(3)	(6)	(23)	3130	1240	(37)	(5)	(22)	
		今年度	6195	6600	4722	6261	4	71	21	31	23	42	40	106	35	5	9	15	2218	1278	31	6	1402	
2	現況 済生会川口総合病院	前年度	1927	175	(963)	(952)	(0)	(1)	(6)	(7)	(17)	(12)	(14)	(219)	(2)	(0)	(0)	(5)	(678)	(131)	(27)	(1)	(95)	
		今年度	1789	157	941	505	0	0	14	6	24	23	24	271	4	0	3	15	492	139	23	1	79	
3	現況 川口市立医療センター	前年度	2033	178	(933)	(654)	(7)	(7)	(15)	(4)	(12)	(26)	(20)	(30)	(4)	(0)	(0)	(6)	(353)	(49)	(23)	(1)	(16)	
		今年度	2288	186	1105	680	2	13	18	3	12	24	23	1	0	0	4	4	1058	333	27	33	224	
4	現況 戸田中央総合病院	前年度	1558	15.9	(684)	(419)	(0)	(5)	(17)	(1)	(13)	(14)	(3)	(3)	(2)	(0)	(6)	(31)	(1294)	(248)	(22)	(5)	(57)	
		今年度	1590	15.9	733	430	0	10	14	13	16	40	19	135	2	0	8	33	1275	236	22	8	1034	
5	現況 国立病院機構埼玉病院	前年度	1489	14.1	(1018)	(49)	(0)	(6)	(6)	(5)	(9)	(12)	(10)	(21)	(1)	(4)	(1)	(19)	(251)	(360)	(21)	(4)	(4)	
		今年度	1617	147	1200	533	0	11	6	2	3	6	17	19	4	0	3	16	753	244	22	16	54	
6	現況 春日部市立病院	前年度	1582	25.5	(586)	(438)	(1)	(16)	(2)	(3)	(17)	(10)	(5)	(14)	(2)	(0)	(0)	(27)	(1313)	(286)	(10)	(13)	(1514)	
		今年度	1413	23.1	660	405	0	28	6	1	4	1	11	8	0	0	0	33	757	277	9	6	1425	

都道府県 申請区分 地域 病院名	年間入院患者数の状況		院内がん登録		手術件数(臓器別手術件数は4ヶ月分)													がんに係る 化学療法	放射線 治療	診療の 割合	緩和ケ ア	がん相談 支援セン ター		
	年間入院患者数	年間がん患者数	がん登録件数	がん登録率	胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮がん	膵臓がん	胆膵がん	腎臓がん	泌尿器がん	皮膚がん	骨髄腫	その他	がん患者数(年間)						がん患者数(1000人)	がん相談支援センター(2ヶ月分)
	(人)	(人)	(人)	(%)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)						(人)	(人)
7 埼玉医科大学総合医療センター	3453	214	1605	1004	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1807	475	22	0	0			
8 さいたま市更新立病院	1048	15.9	1082	424	1	6	2	1	0	11	13	77	0	0	1	4	814	166	12	7	24			
9 さいたま市中央病院	2283	14.7	1810	672	0	2	2	2	0	3	4	236	2	0	1	19	6204	315	14	14	44			
10 自治医科大学附属さいたま医療センター	3436	23.5	2155	883	10	47	21	11	2	27	53	0	8	1	0	27	1373	444	20	6	778			
11 さいたま市医療センター	3161	19.9	3250	248	12	45	21	31	6	43	135	34	43	11	1	153	3848	1845	25	2	598			
12 さいたま医科大学総合医療センター	1684	15.3	2554	1340	10	19	11	12	6	34	24	19	7	0	0	1	1267	734	16	19	624			
13 埼玉医科大学国際医療センター	1879	21.3	657	410	0	0	20	6	23	11	3	27	6	0	0	30	6503	209	61	2	28			
14 新規 上尾中央総合病院	2497	18.0	1201	579	0	11	14	6	0	28	12	8	1	1	6	35	769	315	23	19	174			

資料4

埼玉県 平成27年度の指定推薦等状況と想定される患者受療動向



今回の指定推薦等に係る埼玉県の考え方

1 埼玉県の特徴

人口は全国第5位の約725万人。当面は人口増加傾向が続くと見込まれている。県内でも北部・秩父地域は人口が減少。県南東部は人口増加。急速な高齢化に直面している。（平成12年からの10年間で全国一のスピードで高齢化）人口10万人当たりの医師数は全国最下位。2次医療圏の抱える人口規模が大きく、100万人を超えるところが2か所（さいたま、東部）

2 推薦病院の特徴

(1) 新規推薦病院（上尾中央総合病院）

上尾中央総合病院は、昭和39年に開設され、埼玉県上尾市（県央医療圏）に所在し、現在724床を有する。当該医療圏だけでなく空白医療圏である利根医療圏からも患者を多く受け入れている。がん診療については、平成24年4月から県指定の埼玉県がん診療指定病院としてがん医療提供体制の構築に取り組んでいる。現在は、内視鏡支援ロボットを積極的に導入しており、前立腺がんでは既に多くの症例を実施している。さらに消化器外科領域においてもロボットを導入するべく、準備を進めている。平成27年10月には脳腫瘍センターを設立し、すべての種類の脳腫瘍に対して診断・治療が可能な体制を整えている。ここでは、脳神経外科だけでなく、多職種からなるチームによって医療を提供している。また、上尾中央総合病院は、県内にも数少ない緩和ケア病棟（21床）を整備しており、県央医療圏のみならず近隣医療圏の患者に対しても大いに貢献できる。

(2) 指定更新病院（さいたま市立病院）

さいたま市立病院は、昭和28年に開設され、埼玉県さいたま市（さいたま医療圏）に所在し、現在567床を有する。さいたま医療圏は、約126万人と非常に多くの人口を抱えている。さいたま市立病院は、当該医療圏において唯一の自治体病院であり、地域の基幹病院としての役割を担っている。がん診療については、平成19年1月31日から地域がん診療連携拠点病院としてがん医療提供体制の構築に取り組んでいる。全領域のがん疾患に対応できる医療スタッフが揃っており、鏡視下手術や内視鏡下治療に積極的に取り組んでいる。また、相談支援体制の充実や、市民公開講座の開催、がんサロンによる患者・家族の交流の場の設定など、治療だけでなく、患者や一般市民に対する取り組みにも力を入れている。今回の推薦では、4年更新対象である。

3 埼玉県の考え方

(1) 新規推薦病院（上尾中央総合病院）

上尾中央総合病院は、県央医療圏に位置しており、本県の空白医療圏である利根医療圏の患者の受け入れ先としての役割を担っている。また、同医療圏内には都道府県がん診療連携拠点病院である県立がんセンターが位置しているが、お互い不足する分野について補完しながら連携を密にとっている。上尾中央総合病院は、総合病院として、県立がんセンターで診療困難な合併症を持ったがん患者への対応も行っている。上尾中央総合病院が新たにごん診療連携拠点病院となることで、当該医療圏のみならず埼玉県内全体のがん医療提供体制の更なる充実が見込まれる。

(2) 指定更新病院（さいたま市立病院）

さいたま市立病院は、さいたま医療圏に位置している。同医療圏内には、3つのがん診療連携拠点病院が指定されているが、県圏域に非常に多くの人口を抱えていることから、質の高いがん医療の提供のためには、この地域に複数配置することが適当であるといえる。また、3つの病院は市内バランスよく位置し、さいたま市立病院はさいたま医療圏内の患者を主体に、他の2つの病院は近隣医療圏からも多くの患者を受け入れている。さいたま市立病院は、本県の医療提供体制の充実、そして県民が等しく質の高いがん医療を受けられる体制の構築に当たり、欠かせない存在である。

千葉県

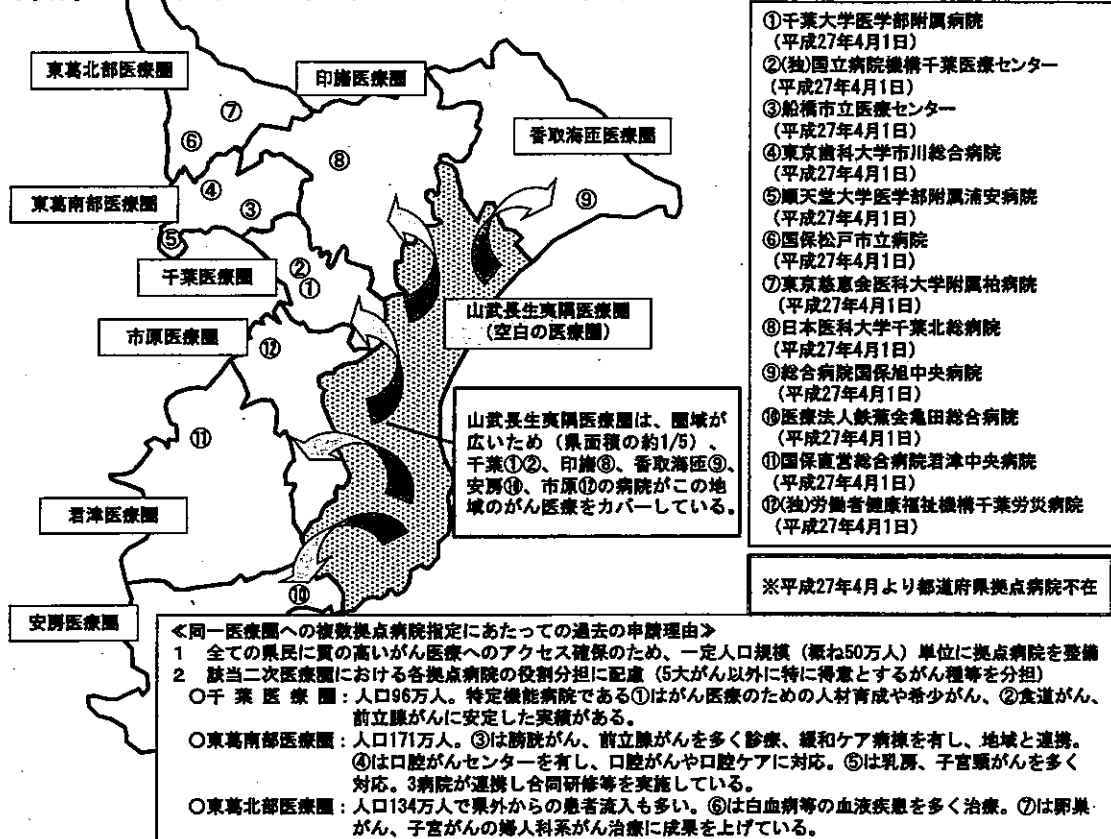
資料1

千葉県2次医療圏の概要

平成27年9月1日現在

2次医療圏名	面積 (km ²)	人口	人口 割合(%)	人口密度	病院数	がん診療連携拠点病院			特定領域がん診療連携 拠点病院			地域がん診療病院			
						現況報告 病院数	今回更新 病院数	新規申請 病院数	現況報告 病院数	今回更新 病院数	新規申請 病院数	現況報告 病院数	今回更新 病院数	新規申請 病院数	
千葉	271.76	968,383	15.6	3,563.4	48	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東葛南部	253.81	1,732,009	27.9	6,824.0	61	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0
東葛北部	358.14	1,353,128	21.8	3,778.2	57	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
印旛	691.66	708,179	11.4	1,023.9	27	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
香取海匝	717.46	281,391	4.5	392.2	21	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山武長生夷隅	1,161.69	433,638	7.0	373.3	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
安房	576.62	128,070	2.1	222.1	16	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
君津	758.21	325,734	5.2	429.6	18	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市原	368.17	276,100	4.4	749.5	13	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
計	5157.52	6,206,630	100	17,356.63	284	10	2	1	0	0	0	0	0	0	1

千葉県 平成27年9月1日現在の指定状況と患者受療動向



がん診療連携拠点病院及び特定領域がん診療連携拠点病院

- ・（ ）内は平成26年10月末日提出の数値、下段は平成27年10月末日提出の数値
- ・申請区分は資料4の作成要領を参照のこと
- ・1枚につき11病院を超える場合には、複数枚にわたって表を作成してください。
- ・※1については、ESD+EMRの合計数を記載すること。

都道府県 or 地域 or 特定	申請 区分	病院名	年間入院患者数の状況		院内が 登録		手術件数(臓器別手術件数は4ヶ月分)												がんに 係る化 学療法		放射線 治療		診療の 割合		緩和ケア		がん相 談支援 センター	
			26年	27年	26年	27年	胃がん	大腸がん	肺がん	肝臓がん	膵臓がん	胆膵がん	泌尿器がん	婦人科がん	小児がん	その他	26年	27年	26年	27年	26年	27年	26年	27年				
			10月末日提出	10月末日提出	10月末日提出	10月末日提出	10月末日提出	10月末日提出	10月末日提出	10月末日提出	10月末日提出	10月末日提出	10月末日提出	10月末日提出	10月末日提出	10月末日提出	10月末日提出	10月末日提出	10月末日提出	10月末日提出	10月末日提出	10月末日提出	10月末日提出	10月末日提出	10月末日提出			
1	現況	千葉大学附属病院	(2,440)	(2,410)	(3,407)	(2,307)	(3)	(24)	(10)	(7)	(55)	(32)	(15)	(114)	(31)	(5)	(72)	(95)	(2,629)	(728)	(19)	(0)	(992)	(990)				
2	現況	千葉医療センター	(2,317)	(25,8)	(908)	(621)	(0)	(19)	(2)	(2)	(13)	(4)	(7)	(0)	(0)	(0)	(17)	(13)	(1,558)	(201)	(12)	(22)	(453)	(354)				
3	現況	船橋市立医療センター	(2,798)	(23,9)	(1,413)	(1,250)	(0)	(20)	(24)	(13)	(16)	(30)	(14)	(51)	(4)	(0)	(0)	(55)	(1,123)	(319)	(14)	(9)	(361)	(481)				
4	現況	市川総合病院	(2,258)	(17,5)	(1,289)	(947)	(1)	(1)	(14)	(2)	(19)	(23)	(12)	(18)	(0)	(0)	(0)	(33)	(1,656)	(290)	(10)	(15)	(184)	(208)				
5	現況	松戸市立病院	(1,393)	(12,6)	(1,211)	(462)	(0)	(13)	(0)	(3)	(15)	(8)	(19)	(89)	(2)	(0)	(10)	(13)	(6,425)	(376)	(5)	(5)	(600)	(586)				

※平成26年1月から放射線治療患者の紹介元病院が自院での放射線治療を開始し、患者が一時的に減少。
 (平成26年11月から乳腺外科診療医師を増員し、乳がん患者に対する診療体制を強化。)
 ・平成27年1月～平成27年12月18日：182人

がん診療連携拠点病院及び特定領域がん診療連携拠点病院

資料 3-1-②

- ・ () 内は平成26年10月末日提出の数値、下段は平成27年10月末日提出の数値
- ・ 申請区分は資料 4 の作成要領を参照のこと
- ・ 1 枚につき11病院を超える場合には、複数枚にわたって表を作成してください。
- ・ ※ 1 については、ESD+EMRの合計数を記載すること。

都道府県 or 地域 or 特定	申請 区分	病院名	年間入院患者 数の状況		院内が ん登録		手術件数 (臓器別手術件数は4ヶ月分)												がん に係る化 学療法		放射線 治療		診療の 割合		緩和ケア		がん相 談支援 センター	
			年間 入院 患者 数 (10月 末)	年間 入院 患者 数 (10月 末)	院内 がん 登録 数 (10月 末)	院内 がん 登録 数 (10月 末)	消化器			泌尿器			呼吸器			その他			がん に係る 化学 療法 (1000 人 以上)	放射 線 治療 (200 人 以上)	外科 手術 の 割合 (%)	内科 診療 の 割合 (%)	緩和 ケア の 割合 (%)	がん 相 談 支 援 セ ン タ ー (10 月 末)	がん 相 談 支 援 セ ン タ ー (10 月 末)			
							消化 器 がん	消化 器 がん 以外	ESD + EMR	泌尿 器 がん	泌尿 器 がん 以外	呼吸 器 がん	呼吸 器 がん 以外	消化 器 以外 の がん	消化 器 以外 の がん 以外	消化 器 以外 の がん 以外	消化 器 以外 の がん 以外	消化 器 以外 の がん 以外										
6	更新	宇野大 胆病院	(3280) 3609	(257) 243	(1532) 1755	(1262) 1666	(2) 4	(17) 16	(14) 17	(16) 9	(23) 18	(25) 22	(16) 10	(137) 105	(10) 4	(6) 9	(6) 4	(27) 31	(2025) 2330	(693) 429	(12) 17	(13) 14	(227) 231					
7	現況	日医北 武病院	(2315) 2314	(17.6) 17.6	(1,049) 1,177	(687) 642	(24) 4	(19) 20	(19) 14	(8) 9	(17) 20	(23) 12	(53) 43	(106) 132	(3) 8	(2) 0	(7) 3	(25) 26	(3,800) 1,339	(71) 236	(18) 18	(3) 14	(285) 213					
8	更新	2中央 病院	(3291) 3500	(16.4) 18	(2355) 1639	(1035) 1365	(14) 16	(11) 4	(25) 31	(13) 6	(23) 40	(39) 52	(23) 20	(35) 35	(1) 4	(0) 0	(7) 9	(33) 31	(1,503) 1,243	(424) 492	(69) 70	(10) 8	(135) 110					
9	現況	豊田総 合病院	(4,526) 4,942	(22.5) 23.7	(2,699) 2,253	(2,749) 2,103	(15) 19	(22) 25	(30) 27	(10) 7	(43) 48	(7) 9	(51) 55	(24) 36	(0) 7	(2) 3	(3) 10	(148) 166	(5,532) 6,024	(750) 661	(50) 52	(13) 24	(362) 600					
10	現況	若菜中 心病院	(2,833) 2,850	(10.7) 10.6	(1,353) 1,333	(815) 857	(2) 3	(20) 15	(27) 14	(4) 0	(19) 24	(10) 10	(6) 3	(0) 0	(0) 7	(0) 0	(12) 0	(20) 0	(640) 722	(265) 238	(45) 45	(0) 2	(160) 160					

がん診療連携拠点病院及び特定領域がん診療連携拠点病院

資料 3-1-③

- ・ () 内は平成26年10月末日提出の数値、下段は平成27年10月末日提出の数値
- ・ 申請区分は資料 4 の作成要領を参照のこと
- ・ 1 枚につき11病院を超える場合には、複数枚にわたって表を作成してください。
- ・ ※ 1 については、ESD+EMRの合計数を記載すること。

都道府県 or 地域 or 特定	申請 区分	病院名	年間入院患者 数の状況		院内が ん登録		手術件数 (臓器別手術件数は4ヶ月分)												がん に係る化 学療法		放射線 治療		診療の 割合		緩和ケア		がん相 談支援 センター	
			年間 入院 患者 数 (10月 末)	年間 入院 患者 数 (10月 末)	院内 がん 登録 数 (10月 末)	院内 がん 登録 数 (10月 末)	消化器			泌尿器			呼吸器			その他			がん に係る 化学 療法 (1000 人 以上)	放射 線 治療 (200 人 以上)	外科 手術 の 割合 (%)	内科 診療 の 割合 (%)	緩和 ケア の 割合 (%)	がん 相 談 支 援 セ ン タ ー (10 月 末)	がん 相 談 支 援 セ ン タ ー (10 月 末)			
							消化 器 がん	消化 器 がん 以外	ESD + EMR	泌尿 器 がん	泌尿 器 がん 以外	呼吸 器 がん	呼吸 器 がん 以外	消化 器 以外 の がん	消化 器 以外 の がん 以外	消化 器 以外 の がん 以外	消化 器 以外 の がん 以外											
11	更新	順天堂 浦安病 院	(3,751) 3,591	(21.5) 20.2	(1,567) 1,565	(974) 972	(5) 1	(9) 11	(5) 2	(14) 28	(22) 11	(1) 0	(37) 37	(2) 2	(0) 2	(0) 1	(28) 15	(43) 49	(1,057) 1,023	(240) 505	(10) 13	(18) 23	(223) 210					
12	更新	千葉労 働病院	(2,582) 2,674	(25) 24.9	(2,582) 966	(556) 682	(3) 0	(23) 33	(10) 16	(5) 2	(19) 24	(11) 5	(39) 34	(19) 7	(4) 5	(0) 0	(6) 0	(44) 38	(1,199) 1,968	(174) 211	(41) 39	(4) 14	(132) 140					
13	新規	東邦佐 倉病院	2,274	19.3	1,131	945	0	10	2	14	0	7	29	0	2	0	0	2	3,238	*112	17	22	125					

*平成26年4月から放射線治療開始。
 ・平成26年 8月～平成27年 7月：209人 (以降年間200人以上を維持)
 ・平成26年12月～平成27年11月：238人

地域がん診療病院

・上段は平成26年10月末日提出の数値、下段は平成27年10月末日提出の数値
 ・申請区分は資料4の作成要領を参照のこと

申請区分	病院名	年間入院患者数の状況		院内がん登録	手術件数	がんに係る化学療法	放射線治療(実施していれば)	診療の割合	緩和ケア	がん相談支援センター
		年間新入院がん患者数	年間新入院患者数に占めるがん患者の割合(%)							
① 新規	さんむ医療センター	408	14.5	*0	76	417	実施なし	16	1	43

*平成26年1月から院内がん登録実施。
 ・平成26年1月～12月：355件

千葉県 平成27年度の指定推薦等状況と想定される患者受療動向



今回の指定推薦等に係る千葉県の考え方

1 千葉県のがんの状況

- 昭和57年以来がんは死亡順位の第1位
- 急速に進む人口の高齢化
 - ー平成22年から15年間で
 - 全国第3位のスピードで高齢化ー

今後さらになん患者が増加
↓
がん対策への取組は重要課題

2 がん診療連携拠点病院等の整備

【基本方針】
県民の誰もが、自らが選択し、安心して納得した質の高いがん医療を、身近な地域で受けられるように整備を進める。

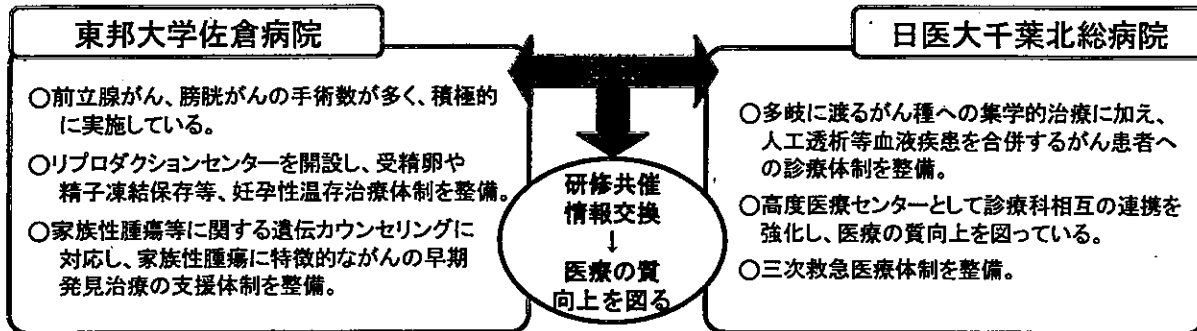
二次医療圏に1か所を基本に、一定人口規模（概ね人口50万人程度）単位に地域がん診療連携拠点病院を整備し機能的役割分担

- 【現状】**
- ①県内9つの二次医療圏のうち、8医療圏に13の拠点病院がある。
(国立がん研究センター東病院を含む)
 - ②山武長生夷隅医療圏は拠点病院未設置の空白の医療圏である。
 - ③平成27年4月以降、都道府県拠点病院の不在状態が続いている。

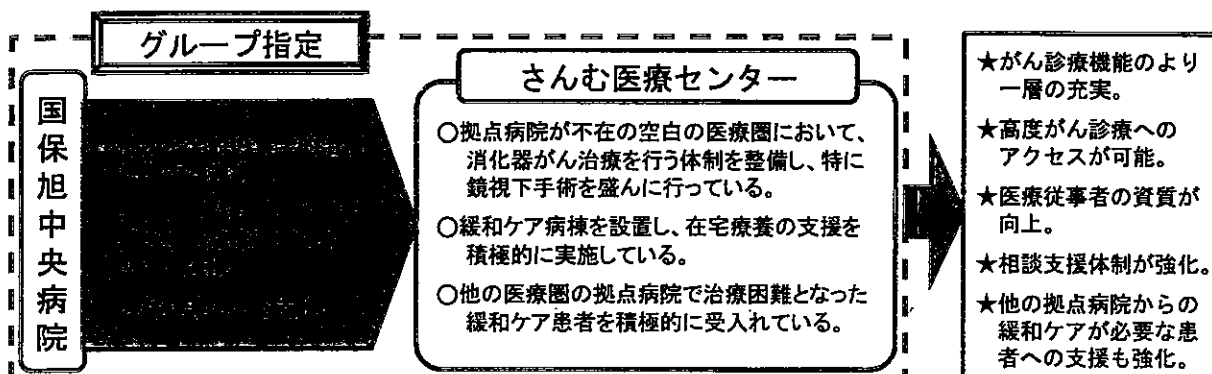
- 【今回】**
- ①今後の人口の高齢化予測を踏まえ、現状の拠点病院数の確保及び新規の地域拠点病院の整備が必須。
 - ②空白の医療圏となっている山武長生夷隅医療圏に、地域の核となる病院を整備することが必須。

今回の指定推薦等に係る千葉県の考え方

(1) 印旛医療圏における地域拠点病院の新規指定推薦



(2) 地域がん診療病院の新規指定推薦



東京都

東京都2次医療圏の概要

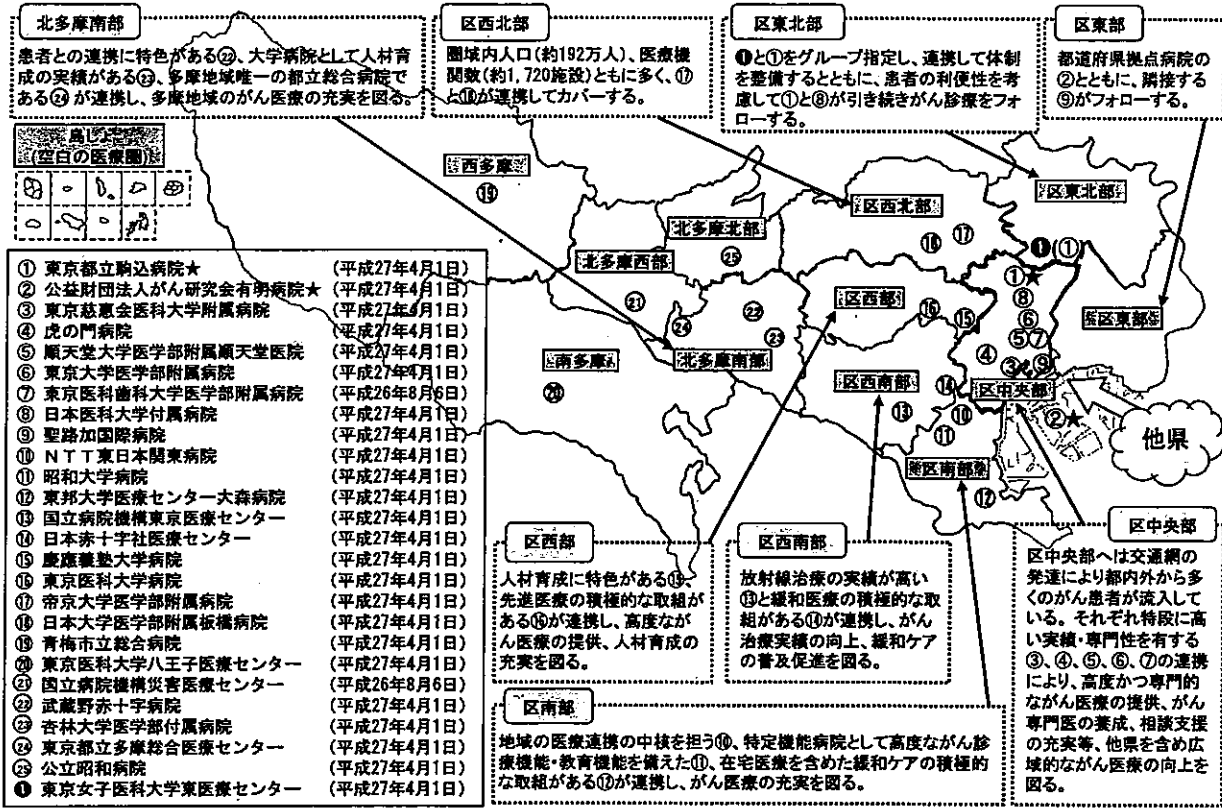
資料1

平成27年9月1日現在

2次医療圏名	面積 (km ²)	人口	人口 割合 (%)	人口密度	病院数	がん診療連携拠点病院			特定領域 がん診療連携拠点病院			地域がん診療病院			
						現況 報告 病院数	今回 更新 病院数	新規 申請 病院数	現況 報告 病院数	今回 更新 病院数	新規 申請 病院数	現況 報告 病院数	今回 更新 病院数	新規 申請 病院数	
区中央部医療圏	63.6	824,094	6.1	12,949.3	53	8	0	1	0	0	0	0	0	0	0
区南部医療圏	83.5	1,090,482	8.1	13,059.7	42	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区西南部医療圏	87.8	1,399,780	10.4	15,937.4	51	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区西部医療圏	67.9	1,223,919	9.1	18,033.3	43	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区西北部医療圏	113.9	1,915,072	14.2	16,810.7	96	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区東北部医療圏	98.2	1,348,077	10.0	13,726.5	85	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
区東部医療圏	103.8	1,432,036	10.6	13,792.1	54	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西多摩医療圏	572.7	388,660	2.9	678.6	30	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
南多摩医療圏	324.7	1,428,978	10.6	4,400.8	77	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北多摩西部医療圏	90.1	646,353	4.8	7,177.7	25	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北多摩南部医療圏	96.1	1,024,787	7.6	10,663.8	48	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北多摩北部医療圏	76.5	733,403	5.4	9,585.7	41	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
島しょ医療圏	404.1	26,399	0.2	65.3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	2,183.0	13,482,040	100.0	136,880.9	646	23	2	1	0	0	0	1	0	0	0

※ 病院数は平成25年10月1日現在（厚生労働省「医療施設調査」より）

東京都 平成27年9月1日現在の指定状況と患者受療動向



がん診療連携拠点病院及び特定領域がん診療連携拠点病院

・ () 内は平成26年10月末日提出の数値、下段は平成27年10月末日提出の数値
 ・ ※1については、ESD+EMRの合計数を記載すること。

都道府県 or 地域 or 特定	申請区分	病院名	年間入院患者数の状況		院内がん登録		手術件数(臓器別手術件数は4ヶ月分)												がんに係る化学療法	放射線治療	診療の割合	緩和ケア	がん相談支援センター
			平成26年	平成27年	平成26年	平成27年	胃	大腸	肺	乳	子宮	膵	胆膵	腎	泌尿器	皮膚	その他	ESD					
2	★	現 がん研有 況 有明病院	(13982)	(87.6)	(5824)	(4818)	(23)	(79)	(70)	(103)	(147)	(30)	(299)	(808)	(51)	(8)	(6)	(360)	(26272)	(1888)	(1)	(88)	(555)
		現 有明病院	14572	88.6	6267	4908	29	85	74	96	148	20	207	985	57	13	0	391	27605	1746	1	89	856
3		現 有明大 況 有明病院	(4635)	(18.9)	(2534)	(2014)	(0)	(29)	(19)	(30)	(45)	(6)	(40)	(57)	(17)	(4)	(5)	(73)	(4957)	(1080)	(9)	(30)	(162)
		現 有明大	6805	23.5	2476	175	0	31	9	35	2	52	30	44	9	1	8	61	2476	630	7	31	1073
4		現 虎の門病 況 院	(6316)	(37.2)	(2541)	(3638)	(2)	(88)	(26)	(35)	(72)	(6)	(133)	(614)	(28)	(0)	(37)	(103)	(2853)	(520)	(5)	(18)	(883)
		現 虎の門病	6407	36.2	2672	1875	1	69	22	29	68	5	130	524	30	2	26	116	1488	547	6	9	
5		現 順天堂医 況 院	(6591)	(26.9)	(3067)	(2583)	(18)	(82)	(36)	(0)	(49)	(18)	(58)	(76)	(19)	(0)	(168)	(131)	(4400)	(835)	(5)	(37)	(305)
		現 順天堂医	6534	25.9	3217	2893	4	113	31	5	52	10	45	78	22	1	188	135	4155	768	4	40	239
6		現 東大病院 況	(9340)	(33.1)	(2186)	(2316)	(7)	(35)	(30)	(18)	(73)	(16)	(97)	(452)	(37)	(1)	(133)	(49)	(3480)	(810)	(32)	(64)	(152)
		現 東大病院	10623	37.6	2612	2699	6	34	36	16	65	6	43	74	32	1	160	41	3580	906	8	79	149
7		現 東京医科 況 歯科大学 附属病院	(4768)	(21.7)	(2603)	(2589)	(17)	(34)	(6)	(17)	(33)	(16)	(22)	(121)	(11)	(5)	(23)	(36)	(2218)	(928)	(3)	(28)	(1184)
		現 東京医科 歯科大学 附属病院	4233	21.4	2007	2097	13	34	9	13	2	27	30	38	3	6	2	21	1838	689	2	26	395
8		現 日本医科 況 科大学病院	(5391)	(30.9)	(2085)	(2926)	(3)	(37)	(15)	(18)	(33)	(6)	(37)	(15)	(8)	(7)	(3)	(43)	(8075)	(892)	(7)	(17)	(266)
		現 日本医科 科大学病院	5622	30.8	2258	3302	4	24	17	6	26	17	53	66	8	4	2	56	8138	581	6	15	1293
9		現 聖路加国 況 際病院	(2918)	(15.9)	(1880)	(1543)	(1)	(18)	(19)	(4)	(26)	(21)	(20)	(44)	(2)	(0)	(5)	(325)	(1974)	(744)	(4)	(13)	(344)
		現 聖路加国 際病院	2941	16.7	1950	1566	2	32	7	7	19	2	26	80	1	0	7	312	1759	789	4	19	574

がん診療連携拠点病院及び特定領域がん診療連携拠点病院

資料3-1-①

・（ ）内は平成26年10月末日提出の数値、下段は平成27年10月末日提出の数値
 ・※1については、ESD+EMRの合計数を記載すること。

都道府県 or 地域 or 特定	申請区分 病院名	年間入院患者 数の状況		院内が ん登録		手術件数（臓器別手術件数は4ヶ月分）																がんに係る化 学療法		放射線 治療		診療の 割合		緩和 ケア		がん相 談支 援セ ンター	
		平成 26年 （10月 末日 提出）	平成 27年 （10月 末日 提出）	平成 26年 （10月 末日 提出）	平成 27年 （10月 末日 提出）	胃がん				膵臓がん				大腸がん				肝臓がん				1000人 当たり	200人 当たり	1000人 当たり	200人 当たり	緩和 ケア の割合 （%）	がん相 談支 援セ ンター の割合 （%）	平成 26年 （10月 末日 提出）	平成 27年 （10月 末日 提出）		
						胃 がん （胃 切除 手術）	膵 臓 がん （膵 臓 切除 手術）	大 腸 がん （大 腸 切除 手術）	肝 臓 がん （肝 臓 切除 手術）	膵 臓 がん （膵 臓 切除 手術）	大 腸 がん （大 腸 切除 手術）	肝 臓 がん （肝 臓 切除 手術）	膵 臓 がん （膵 臓 切除 手術）	大 腸 がん （大 腸 切除 手術）	肝 臓 がん （肝 臓 切除 手術）	膵 臓 がん （膵 臓 切除 手術）	大 腸 がん （大 腸 切除 手術）	肝 臓 がん （肝 臓 切除 手術）	膵 臓 がん （膵 臓 切除 手術）	大 腸 がん （大 腸 切除 手術）	肝 臓 がん （肝 臓 切除 手術）										
10	現 国立がん研究センター がん診療連携拠点病院	(5509) 4324	(6592) 5337	(1532) 1062	(1677) 1416	(27)	(9)	(20)	(21)	(70)	(20)	(20)	(70)	(6)	(0)	(207)	(49)	(3174)	(545)	(10)	(20)	(692)									
11	現 昭和大学 がんセンター	(4320) 4341	(23.3) 23.3	(1941) 2051	(1383) 1284	(14)	(6)	(1)	(30)	(20)	(7)	(39)	(17)	(9)	(17)	(28)	(134)	(2923)	(877)	(13)	(13)	(356)									
12	現 がん研 センター	(5028) 5076	(23.5) 23.3	(1815) 1978	(1921) 1832	(2)	(27)	(27)	(14)	(20)	(21)	(42)	(25)	(10)	(7)	(42)	(42)	(4710)	(454)	(21)	(27)	(670)									
13	現 東京医療 センター	(3213) 3633	(18.0) 19.3	(1753) 1792	(817) 941	(11)	(10)	(11)	(12)	(38)	(28)	(27)	(30)	(5)	(2)	(75)	(75)	(2421)	(956)	(11)	(25)	(323)									
14	現 日本医療 センター	(4060) 4243	(21.3) 22.2	(1240) 1237	(922) 783	(1)	(1)	(27)	(0)	(8)	(64)	(2)	(150)	(13)	(0)	(23)	(23)	(1022)	(1115)	(6)	(26)	(409)									
15	現 慶応義塾 大学病院	(5038) 4941	(21.4) 21.4	(2469) 2624	(2654) 2086	(2)	(35)	(10)	(15)	(40)	(10)	(34)	(80)	(2)	(9)	(29)	(64)	(4300)	(859)	(4)	(32)	(867)									
16	現 がん研 センター	(6320) 6884	(33.2) 29.9	(2391) 3074	(2453) 2044	(2)	(5)	(19)	(5)	(61)	(33)	(54)	(37)	(6)	(0)	(22)	(72)	(6504)	(848)	(12)	(25)	(415)									
17	現 帝京大学 がんセンター	(4827) 4572	(22.9) 21.7	(1622) 1742	(1294) 1462	(10)	(23)	(23)	(8)	(12)	(13)	(28)	(16)	(6)	(1)	(0)	(19)	(2074)	(556)	(13)	(22)	(539)									
18	現 日本医療 センター	(4781) 4204	(24.0) 21.2	(1757) 1774	(2056) 1333	(0)	(1)	(12)	(0)	(17)	(31)	(9)	(18)	(5)	(2)	(63)	(63)	(4115)	(695)	(13)	(12)	(108)									

がん診療連携拠点病院及び特定領域がん診療連携拠点病院

資料3-1-①

・（ ）内は平成26年10月末日提出の数値、下段は平成27年10月末日提出の数値
 ・※1については、ESD+EMRの合計数を記載すること。

都道府県 or 地域 or 特定	申請区分 病院名	年間入院患者 数の状況		院内が ん登録		手術件数（臓器別手術件数は4ヶ月分）																がんに係る化 学療法		放射線 治療		診療の 割合		緩和 ケア		がん相 談支 援セ ンター	
		平成 26年 （10月 末日 提出）	平成 27年 （10月 末日 提出）	平成 26年 （10月 末日 提出）	平成 27年 （10月 末日 提出）	胃がん				膵臓がん				大腸がん				肝臓がん				1000人 当たり	200人 当たり	1000人 当たり	200人 当たり	緩和 ケア の割合 （%）	がん相 談支 援セ ンター の割合 （%）	平成 26年 （10月 末日 提出）	平成 27年 （10月 末日 提出）		
						胃 がん （胃 切除 手術）	膵 臓 がん （膵 臓 切除 手術）	大 腸 がん （大 腸 切除 手術）	肝 臓 がん （肝 臓 切除 手術）	膵 臓 がん （膵 臓 切除 手術）	大 腸 がん （大 腸 切除 手術）	肝 臓 がん （肝 臓 切除 手術）	膵 臓 がん （膵 臓 切除 手術）	大 腸 がん （大 腸 切除 手術）	肝 臓 がん （肝 臓 切除 手術）	膵 臓 がん （膵 臓 切除 手術）	大 腸 がん （大 腸 切除 手術）	肝 臓 がん （肝 臓 切除 手術）	膵 臓 がん （膵 臓 切除 手術）	大 腸 がん （大 腸 切除 手術）	肝 臓 がん （肝 臓 切除 手術）										
19	現 がん研 センター	(2407) 2371	(21.4) 20.8	(833) 963	(569) 557	(6)	(0)	(9)	(2)	(12)	(31)	(0)	(9)	(3)	(0)	(2)	(18)	(950)	(166)	(4)	(17)	(149)									
20	現 東京医大 八王子医 療セン ター	(4217) 3988	(32.4) 28.1	(1188) 1243	(1756) 1694	(7)	(26)	(15)	(8)	(6)	(17)	(10)	(2)	(4)	(3)	(6)	(44)	(1463)	(408)	(22)	(4)	(804)									
21	現 がん研 センター	(1413) 1467	(13.5) 14.2	(764) 876	(493) 435	(2)	(8)	(10)	(1)	(9)	(24)	(10)	(19)	(1)	(0)	(0)	(24)	(1400)	(366)	(14)	(3)	(389)									
22	現 武蔵野赤 十字病 院	(2306) 2336	(22.2) 23.3	(1841) 1965	(1448) 1456	(2)	(29)	(14)	(10)	(24)	(51)	(19)	(5)	(7)	(1)	(73)	(62)	(1870)	(403)	(10)	(23)	(240)									
23	現 杏林大学 がん研 センター	(3589) 6501	(15.7) 28.6	(2104) 2209	(1466) 1830	(6)	(51)	(14)	(9)	(32)	(18)	(47)	(150)	(12)	(0)	(0)	(79)	(5283)	(545)	(13)	(24)	(112)									
24	現 都立多摩 総合医 療セン ター	(5619) 4568	(26.7) 23.7	(2148) 2249	(2009) 1284	(2)	(25)	(6)	(32)	(51)	(22)	(78)	(47)	(12)	(11)	(4)	(132)	(1844)	(768)	(16)	(12)	(255)									
25	現 更立昭和 新病 院	(2535) 2121	(20.6) 16.6	(1311) 1348	(1826) 1740	(1)	(22)	(30)	(5)	(26)	(64)	(17)	(201)	(16)	(5)	(4)	(46)	(681)	(324)	(20)	(9)	(459)									
26	現 三井記念 病 院	4430	29.7	1036	711	15	13	10	10	22	28	13	54	2	0	76	84	1210	334	8	23	210									

地域がん診療病院

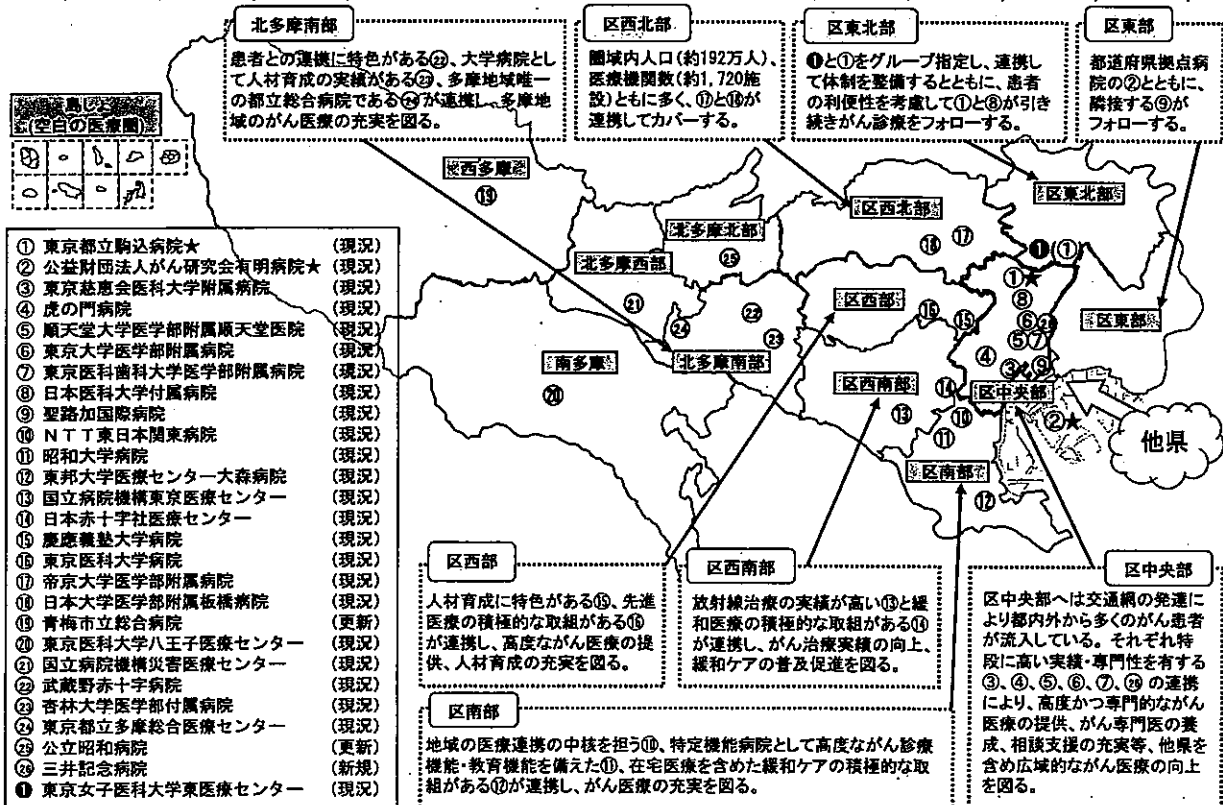
資料3-2

・上段は平成26年10月末日提出の数値、下段は平成27年10月末日提出の数値

申請区分	病院名	年間入院患者数の状況		院内がん登録	手術件数	がんに係る化学療法	放射線治療(実施していれば)	診療の割合	緩和ケア	がん相談支援センター
		年間新入院がん患者数	年間新入院患者数に占めるがん患者の割合(%)	院内がん登録数(年間)	悪性腫瘍手術総数(年間)	がんに係る患者実数(年間)	のべ患者数(年間)	当該2次医療圏に居住するがん患者の診療の割合(%)	緩和ケアチームに対する新規診療依頼数(1ヶ月分)	がん相談支援センター相談件数(2ヶ月分)
① 現況	東京女子医科大学東医療センター	(1045) 987	(8.0) 7.8	(720) 963	(812) 774	(1089) 1276	(0) 0	(6) 6	(3) 7	(15) 27

資料4

東京都 平成27年度の指定推薦等状況と想定される患者受療動向



東京都の地域特性

① がん患者が全国の11分の1、一方、都内の拠点病院数が全国の16分の1 ~拠点病院が足りない~

- ◆ 都の人口 約1,348万人⇒ 全国の1/10
- ◆ 都民の総がん患者数(推計) 約14万人⇒ 全国の1/11
- ◆ 二次医療圏の平均人口 約104万人⇒ 全国平均の約2.8倍
- ◆ 都内の拠点病院数 25か所⇒ 全国(401)の1/16

② 他道府県からのがん患者流入割合が3割 ~他道府県のがん医療も支えている~

＜他県からのがん患者流入割合＞

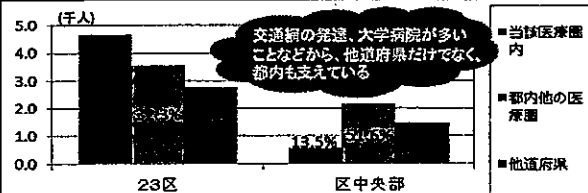
- ◆ 23区 33.0%
- ◆ 区中央部 34.8%
- ◆ 全国平均 9.1%

神奈川県、埼玉県、千葉県からの流入が多い

③ 交通網の発達、大学病院が多数

~他道府県も含め、二次医療圏を越えて全都から患者が受診~

都内における他道府県・他圏域に居住する入院がん患者割合

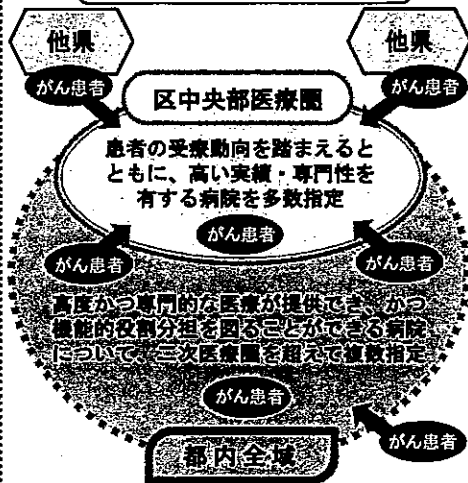


資料:平成23年患者調査(東京都福祉保健局)

東京都における拠点病院の必要数及び整備の考え方

- ◆ 都の人口、他道府県からの流入状況を踏まえると36か所以上の整備が必要
- ◆ 都内交通網の発達、多数の大学病院があることを踏まえ、圏域を越えて全般的に整備

拠点病院の整備の考え方



神奈川県

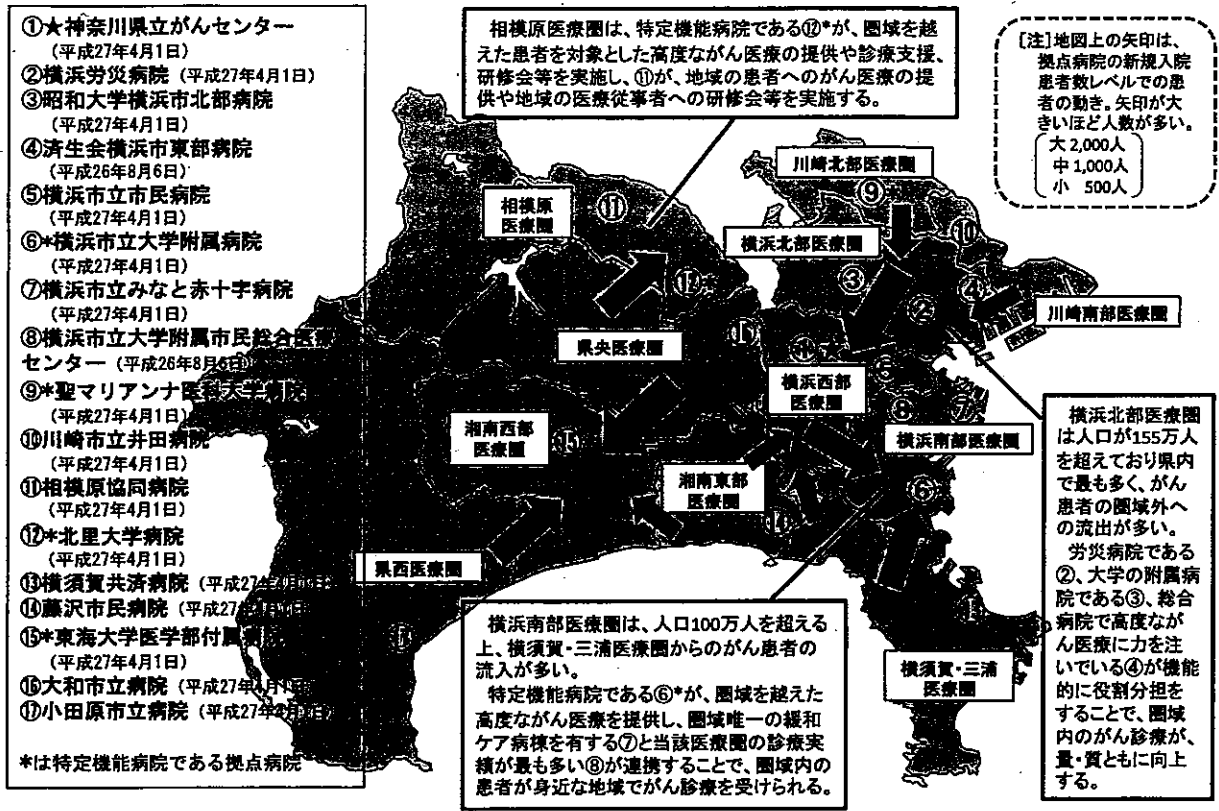
資料 1

神奈川県 2次医療圏の概要

平成27年9月1日現在

2次医療圏名	面積(km ²)	人口	人口割合(%)	人口密度	病院数	がん診療連携拠点病院				特定領域がん診療連携拠点病院			地域がん診療病院				
						現況報告病院数	今回更新病院数	新規申請病院数	計	現況報告病院数	今回更新病院数	新規申請病院数	現況報告病院数	今回更新病院数	新規申請病院数		
横浜北部	176.96	1,566,571	17.2%	8852.7	50	3			3								
横浜西部	138.23	1,104,022	12.1%	7986.8	50	2			2								
横浜南部	122.28	1,048,996	11.5%	8578.6	34	3			3								
川崎北部	78.72	843,244	9.2%	10711.9	20	1			1								
川崎南部	64.28	630,414	6.9%	9807.3	21		1	1	2								
相模原	328.66	723,884	7.9%	2202.5	37	2			2								
横須賀・三浦	206.86	712,422	7.8%	3444.0	31	1			1								
湘南東部	118.61	708,621	7.8%	5974.4	23	1			1								
湘南西部	253.40	586,771	6.4%	2315.6	22	1			1								
県央	292.75	844,621	9.3%	2885.1	32	1			1								
県西	635.06	348,996	3.8%	549.5	23		1		1								
計	2415.81	9,118,562	100%	3774.5	343	15	2	1	18	0	0	0	0	0	0	0	0

神奈川県 平成27年9月1日現在の指定状況と患者受療動向



がん診療連携拠点病院

・()内は平成26年10月末日提出の数値、下段は平成27年10月末日提出の数値
 ・申請区分は資料4の作成要領を参照のこと
 ・1枚につき11病院を超える場合には、複数枚にわたって表を作成してください。
 ・※1については、ESD+EMRの合計数を記載すること。

都道府県 or 地域 or 特定	申請 区分	病院名	年間入院患者数の状況		院内がん登録	手術件数(臓器別手術件数は4ヶ月分)															がんに係る化学療法	放射線治療	診療の割合	緩和ケア	がん相談支援センター		
			年間入院患者数	前年比		がん登録数	前年比	胃					大腸					肺癌	乳癌	子宮頸癌						前立腺癌	その他
								胃がん	胃腸	胃腸	胃腸	胃腸	大腸がん	大腸	大腸	大腸	大腸										
1	現況	川崎労災病院	(3,043) 9,220	(34.0%) -9.5%	(2,539) 4,023	(2,365) 2,576	(0) 4	(93) 126	(28) 21	(31) 34	(58) 31	(60) 39	(9) 22	(13) 13	(1) 0	(0) 0	(107) 121	(1,142) 627	(628) 97	(16%) 22%	(9) 11	(385) 1,164					
2	現況	横浜労災病院	(3,588) 3,894	(18.8%) -12.3%	(1,740) 2,069	(1,157) 1,106	(4) 5	(19) 34	(14) 19	(12) 6	(11) 1	(5) 48	(6) 17	(20) 12	(0) 4	(0) 0	(75) 90	(1,193) 1,162	(1,395) 993	(28%) 28%	(15) 14	(153) 113					
3	現況	昭和大学横浜市北部病院	(4,686) 3,579	(26.1%) -21.8%	(2,165) 2,440	(1,281) 1,512	(7) 7	(29) 32	(4) 9	(26) 20	(26) 25	(21) 5	(87) 52	(7) 7	(0) 3	(2) 3	(0) 3	(4) 8	(1,410) 1,602	(1,379) 1,179	(23%) 21%	(5) 7	(57) 68				
4	現況	済生会横浜市東部病院	(3,214) 2,979	(18.0%) -15.9%	(1,859) 1,574	(994) 1,007	(0) 0	(18) 24	(10) 18	(18) 14	(26) 22	(43) 49	(38) 35	(9) 8	(2) 7	(2) 2	(0) 0	(46) 50	(1,247) 867	(543) 606	(24%) 22%	(1) 1	(324) 332				
5	現況	横浜市立市民病院	(4,011) 3,917	(23.5%) -23.0%	(1,401) 1,485	(902) 864	(0) 0	(23) 48	(21) 15	(1) 1	(20) 14	(26) 56	(32) 43	(13) 11	(2) 8	(1) 0	(11) 3	(38) 56	(2,578) 1,538	(2,000) 365	(11%) 10%	(18) 10	(174) 223				

がん診療連携拠点病院

資料3-1-①

都道府県 or 地域 Or 特定	申請 区分	病院名	年間入院患者 数の状況		院内が ん登録	手術件数(臓器別手術件数は4ヶ月分)														がん に係る化 学療法	放射線 治療	診療の 割合	緩和 ケア	がん相 談支 援セン ター
			年間 入院 患者 数 (人)	年間 手術 患者 数 (人)		消化器 がん (件)	呼吸器 がん (件)	泌尿器 がん (件)	皮膚科 がん (件)	乳腺 がん (件)	婦人科 がん (件)	その他 がん (件)	ESD 手術 (件)	EMR 手術 (件)	内視鏡 手術 (件)	放射線 治療 (件)	がん 相談 支援 セン ター (件)							
																		消化器 がん (件)	呼吸器 がん (件)					
6	現況	聖マリア シナ医療 大学病院	(4,316) 3,794	(19.2%) 16.8%	(2,515) 2,923	(1,717) 1,764	(2)	(41)	(10)	(24)	(34)	(19)	(36)	(9)	(2)	(1)	(8)	(251)	(4,827)	(746)	(40%)	(11)	(389)	
7	現況	横浜市立 みなと赤 十字病院	(1,904) 2,063	(13.3%) 13.7%	(1,466) 1,123	(713) 742	(4)	(3)	(18)	(7)	(9)	(10)	(46)	(21)	(2)	(0)	(1)	(58)	(1,780)	(309)	(7%)	(13)	(1,262)	
8	現況	市立川 市民総合 医療セン ター	(1,930) 2,352	(28.3%) 29.3%	(1,165) 2,403	(1,410) 2,834	(0)	(29)	(14)	(23)	(30)	(1)	(61)	(63)	(5)	(0)	(19)	(0)	(3,972)	(601)	(15%)	(10)	(479)	
9	現況	聖マリア シナ医療 大学病院	(4,316) 3,794	(19.2%) 16.8%	(2,515) 2,923	(1,717) 1,764	(2)	(41)	(10)	(24)	(34)	(19)	(36)	(9)	(2)	(1)	(8)	(251)	(4,827)	(746)	(40%)	(11)	(389)	
10	現況	川崎市立 井田病院	(1,462) 1,433	(22.4%) 23.4%	(1,197) 571	(412) 483	(0)	(2)	(3)	(7)	(0)	(0)	(23)	(6)	(0)	(0)	(0)	(25)	(1,433)	(150)	(6%)	(8)	(745)	
11	現況	相模原協 同病院	(2,337) 2,204	(21.2%) 19.5%	(1,202) 1,119	(520) 559	(0)	(24)	(12)	(7)	(11)	(8)	(31)	(15)	(1)	(1)	(1)	(34)	(3,293)	(578)	(16%)	(12)	(985)	

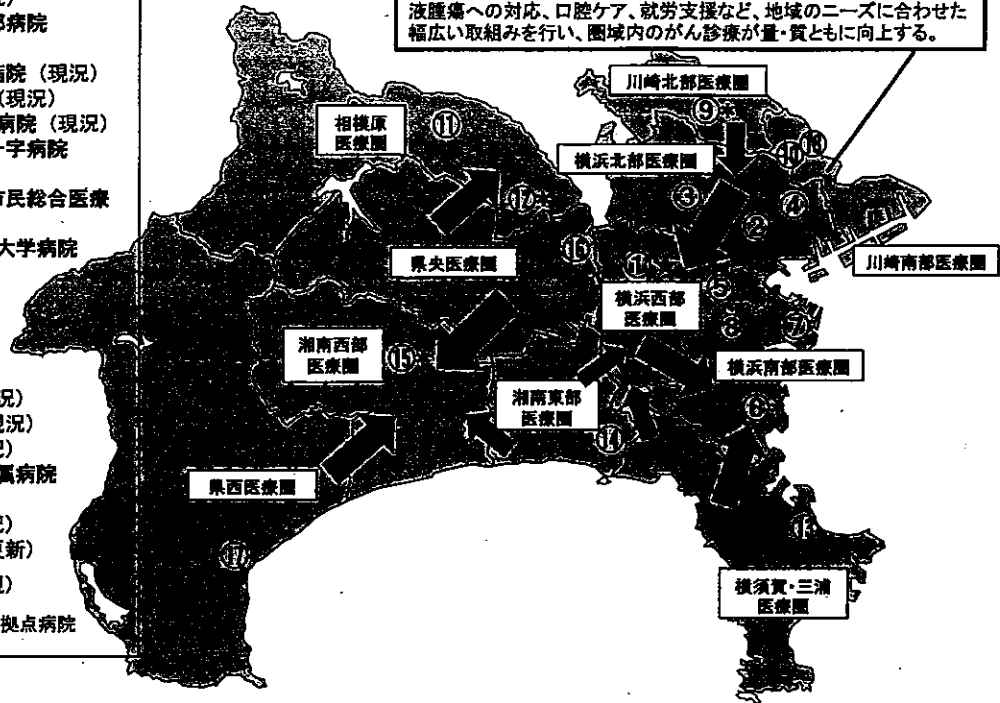
がん診療連携拠点病院

資料3-1-①

都道府県 or 地域 Or 特定	申請 区分	病院名	年間入院患者 数の状況		院内が ん登録	手術件数(臓器別手術件数は4ヶ月分)														がん に係る化 学療法	放射線 治療	診療の 割合	緩和 ケア	がん相 談支 援セン ター
			年間 入院 患者 数 (人)	年間 手術 患者 数 (人)		消化器 がん (件)	呼吸器 がん (件)	泌尿器 がん (件)	皮膚科 がん (件)	乳腺 がん (件)	婦人科 がん (件)	その他 がん (件)	ESD 手術 (件)	EMR 手術 (件)	内視鏡 手術 (件)	放射線 治療 (件)	がん 相談 支援 セン ター (件)							
																		消化器 がん (件)	呼吸器 がん (件)					
12	現況	相模原協 同病院	(6,534) 5,162	(20.3%) 21.6%	(4,174) 4,022	(1,397) 2,033	(17)	(20)	(6)	(2)	(5)	(0)	(27)	(31)	(0)	(0)	(0)	(169)	(6,427)	(1,155)	(21%)	(4)	(891)	
13	現況	横浜真栄 済病院	(4,081) 3,852	(22.8%) 20.8%	(2,186) 2,153	(1,397) 1,692	(0)	(25)	(14)	(12)	(22)	(28)	(44)	(10)	(4)	(3)	(35)	(2,363)	(219)	(5%)	(12)	(477)		
14	現況	横浜市立 病院	(2,574) 2,440	(18.2%) 17.5%	(1,164) 1,165	(586) 586	(5)	(4)	(22)	(0)	(16)	(4)	(28)	(11)	(2)	(0)	(0)	(14)	(630)	(314)	(28%)	(4)	(234)	
15	現況	東海大学 医学部付 属病院	(7,963) 7,866	(34.5%) 34.8%	(3,681) 3,654	(2,067) 2,027	(17)	(42)	(20)	(12)	(37)	(68)	(21)	(44)	(6)	(1)	(18)	(66)	(3,898)	(1,069)	(29%)	(25)	(612)	
16	現況	大和市立 病院	(2,090) 2,136	(22.6%) 22.3%	(961) 976	(452) 419	(2)	(0)	(0)	(0)	(0)	(3)	(15)	(4)	(1)	(0)	(2)	(34)	(1,014)	(237)	(19%)	(5)	(186)	
17	更新	小田原市 立病院	(2,038) 1,813	(20.5%) 17.2%	(857) 825	(613) 619	(6)	(2)	(14)	(1)	(1)	(14)	(7)	(5)	(11)	(0)	(0)	(15)	(591)	(195)	(43%)	(14)	(213)	
18	新規	関東労災 病院	(2,190) 2,190	(14.3%) 14.3%	(1,004) 1,004	(469) 469	(0)	(3)	(5)	(7)	(0)	(6)	(20)	(3)	(2)	(0)	(4)	(17)	(1,013)	(204)	(12%)	(4)	(115)	

神奈川県 平成27年度の指定推薦等状況と想定される患者受療動向

- ①★神奈川県立がんセンター (現況)
 - ②横浜労災病院 (現況)
 - ③昭和大学横浜市北部病院 (現況)
 - ④済生会横浜市東部病院 (現況)
 - ⑤横浜国立大学市民病院 (現況)
 - ⑥*横浜国立大学附属病院 (現況)
 - ⑦横浜国立大学みなと赤十字病院 (現況)
 - ⑧横浜国立大学附属市民総合医療センター (現況)
 - ⑨*聖マリアンナ医科大学病院 (現況)
 - ⑩川崎市立井田病院 (更新)
 - ⑪相模原協同病院 (現況)
 - ⑫*北里大学病院 (現況)
 - ⑬横須賀共済病院 (現況)
 - ⑭藤沢市民病院 (現況)
 - ⑮*東海大学医学部付属病院 (現況)
 - ⑯大和市立病院 (現況)
 - ⑰小田原市立病院 (更新)
 - ⑱関東労災病院 (新規)
- *は特定機能病院である拠点病院



川崎南部医療圏は人口が63万人と全国平均の1.7倍で、人口急増地域でもあり、圏域外への患者の流出が多い。
川崎市立井田病院は、「緩和ケア」を軸とした「在宅ケア」「地域連携」に力を注いでおり、関東労災病院は、多くの入院患者の受け入れ、血液腫瘍への対応、口腔ケア、就労支援など、地域のニーズに合わせた幅広い取り組みを行い、圏域内のがん診療が量・質ともに向上する。

神奈川県のがん診療連携拠点病院整備の考え方

1 現在のがん診療連携拠点病院の整備状況

【都道府県がん診療連携拠点病院】 県立がんセンター

【地域がん診療連携拠点病院】 県内11の二次医療圏に16病院整備(空白医療圏なし)

特定機能病院である地域がん診療連携拠点病院を4カ所分散配置し、がん診療に携わる人材の育成や先端的治療を推進

※ 県立がんセンターを中心に、拠点病院が連携・協力し、本県のがん医療の充実を推進

2 神奈川県を踏まえた整備方針

(1) がん患者数が全国第2位

- ・ 昭和53年からがんが死亡原因の第一位(神奈川県衛生統計年報)
- ・ 悪性新生物総患者数が東京都に次いで多い103,000人(平成23年患者調査より)
- ・ 本県のがん患者数は全国の6.7%を占めるが、拠点病院数は全国の4.2%

(2) 二次医療圏の人口が多い

- ・ 本県の二次医療圏の平均人口は約83万人で、全国平均(約37万人)の2.2倍
- ・ 県民が身近な地域で高度ながん医療を受けることが困難な状況が懸念

(3) がん医療提供体制整備のさらなる推進

- ・ 県内には、高度ながん診療機能を有し、国の指定要件を満たすことができる病院が多く存在
→人口が集中する都市部では、複数の病院を拠点病院として推薦
- ・ すべての医療圏において、がん患者が身近な地域で高度ながん医療を受けられるよう、がん診療の中心となる拠点病院をさらに整備

3 新たに拠点病院を整備することによる効果

資料5-(2)

【川崎南部医療圏を含む神奈川県北東部の現状】
 人口が増え、人口当たりの病床数が少ないため、さらなるがん診療連携体制の強化が必要

<p style="text-align: center;">《横浜北部医療圏》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口155万人(全国平均の4.3倍、本県の二次医療圏で最も多い) ・人口10万人当たり病床数395床(全国平均の56%) ・川崎医療圏からの患者の流入がある一方、横浜西部医療圏に多く流出している。 	<p style="text-align: center;">《川崎南部医療圏》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口約63万人(全国平均の1.7倍) ・高層マンションの建設ラッシュなどで、人口急増地域となっている。 ・川崎市は市域が細長く、交通網も発達しているため、患者の移動が多く、特に流出が多い。 	<p style="text-align: center;">《川崎北部医療圏》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口約84万人(全国平均の2.3倍) ・人口10万人当たり病床数398床(全国平均の56%) ・緩和ケア病棟のある病院がない。
---	---	--

<p style="text-align: center;">関東労災病院 <small>がんの受け入れ がんのニーズに合わせて「がん」を</small></p> <p>【通院圏域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●病床610床を有し、当該医療圏に居住するがん患者の約12%を診療。 ●東急東横線沿線に立地し、交通の便がよいため、広範囲の患者受入が可能。 <p>【診療機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●血液内科・腫瘍内科を強化し、血液腫瘍及び対応困難な希少がん・重複がん患者を積極的に受け入れ。(当該医療圏、横浜北部医療圏の症例数が最多) ●高度進行胃がん患者に適用できる先進医療(県内で唯一)、乳腺外科の開設(平成27年6月)、周術期口腔機能管理の取組み等、幅広い取組みを実施。 <p>【地域連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「かかりつけ医」制度の推進、講演会・症例検討会の開催等を積極的に実施。 <p>【相談支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●がん患者の就労支援に積極的に取組み、社会保険労務士相談も実施。 	<p style="text-align: center;">川崎市立井田病院 <small>「緩和ケア」を がん医療の中心に</small></p> <ul style="list-style-type: none"> ●「川崎市立井田病院再編整備基本計画」に基づき、「がん医療」を中心に機能を強化。 ●緩和ケア医療に尽力し、当該病院の緩和ケア病棟では、当該医療圏だけでなく、川崎市全体や横浜市からの患者を多く受け入れ。 ●診断時からの緩和ケアにも先進的に取り組み、県内の拠点病院等のレベルアップにも貢献。
--	--

同医療圏の既指定病院である川崎市立井田病院と関東労災病院の役割分担や相互連携を図ることで、患者が個々のニーズに応じて、切れ目のない治療・支援をより身近な地域で受けることができるようになることが期待され、当該医療圏のみならず、隣接する医療圏のがん医療水準が量・質ともに向上し、地域連携の強化が推進される。

大阪府

資料 1

大阪府 2 次医療圏の概要

平成27年9月1日現在

2次医療圏名	面積 (km ²)	人口	人口 割合(%)	人口密度	病院数	がん診療連携拠点病院			
						現況報告 病院数	今回更新 病院数	新規申請 病院数	計
豊能二次医療圏	275.61	1,034,727	11.7	3,754.3	47	2			2
三島二次医療圏	213.46	749,274	8.5	3,510.1	39	1			1
北河内二次医療圏	177.34	1,163,920	13.2	6,563.2	60	1			1
中河内二次医療圏	128.83	842,285	9.5	6,538.0	41	2			2
南河内二次医療圏	290	614,671	6.9	2,119.6	39	2			2
堺市二次医療圏	149.81	838,397	9.5	5,596.4	45	2			2
泉州二次医療圏	444.73	906,302	10.2	2,037.9	78	1			1
大阪市二次医療圏	225.21	2,698,024	30.5	11,980.0	186	6		1	7
北部基本保健医療圏	(48.65)	668,373	7.6	13,738.4	38	1			1
西部基本保健医療圏	(60.64)	475,966	5.4	7,849.0	33				0
東部基本保健医療圏	(47.56)	725,195	8.2	15,248.0	64	3		1	4
南部基本保健医療圏	(68.39)	828,490	9.4	12,114.2	51	2			2
計	1,904.99	8,847,600	100	4,644.4	535	17	0	1	18

※特定領域がん診療連携拠点病院及び地域がん診療病院については該当なし

大阪府には8つの二次医療圏数があり、さらに人口260万人を超える大阪市医療圏には4つの基本保健医療圏がある。これら基本保健医療圏は他の2次医療圏と同程度の規模を有することから、実質的な二次医療圏数は11となる。

大阪府 平成27年9月1日現在の 指定状況と患者受療動向

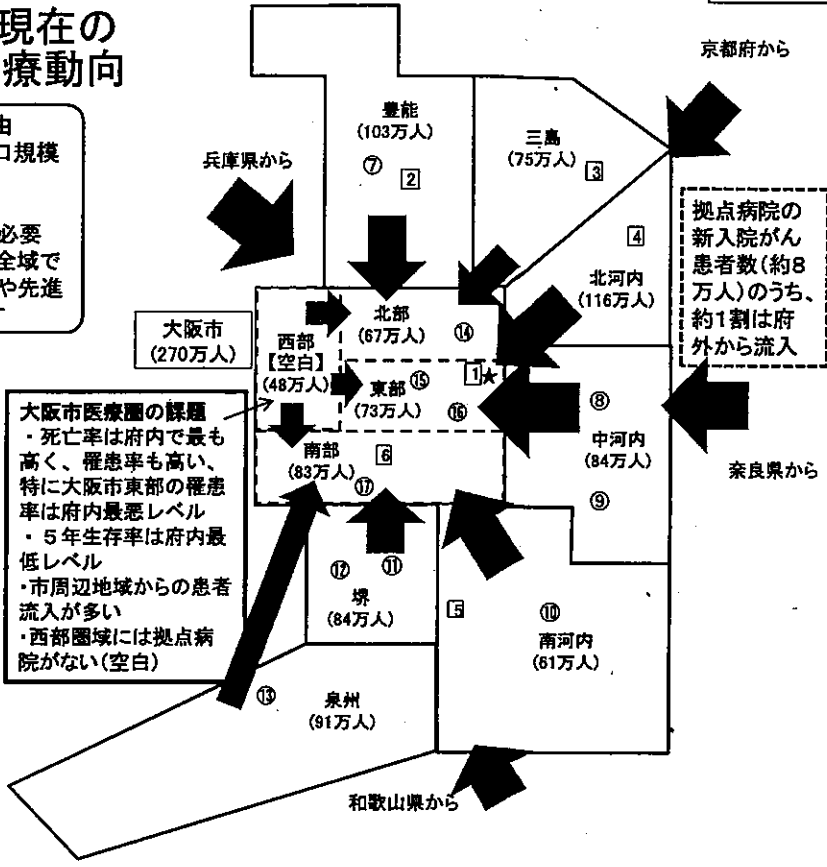
資料2

- 前回申請時に複数指定を必要とした理由
- 各医療圏は全国平均の約3倍の人口規模
 - 全国最悪レベルの死亡率
- ① 医療圏毎に拠点病院の複数配置が必要
② 府立成人病Cと5大学病院は、府内全域での高度医療の提供、人材育成・派遣や先進医療の提供等先導的な役割を果たす

- ①大阪府立成人病センター★ (H27.4.1)
- ②大阪大学医学部附属病院 (H27.4.1)
- ③大阪医科大学附属病院 (H27.4.1)
- ④関西医科大学附属枚方病院 (H27.4.1)
- ⑤近畿大学医学部附属病院 (H27.4.1)
- ⑥大阪市立大学医学部附属病院 (H27.4.1)
- ⑦市立豊中病院 (H27.4.1)
- ⑧東大阪市立総合病院 (H27.4.1)
- ⑨八尾市立病院 (H27.4.1)
- ⑩大阪南医療センター (H27.4.1)
- ⑪大阪労災病院 (H27.4.1)
- ⑫堺市立総合医療センター (H26.8.6)
- ⑬市立岸和田市民病院 (H27.4.1)
- ⑭大阪市立総合医療センター (H27.4.1)
- ⑮大阪医療センター (H27.4.1)
- ⑯大阪赤十字病院 (H27.4.1)
- ⑰府立急性期・総合医療センター (H26.8.6)

大阪市医療圏の課題

- ・死亡率は府内で最も高く、罹患率も高い、特に大阪市東部の罹患率は府内最悪レベル
- ・5年生存率は府内最低レベル
- ・市周辺地域からの患者流入が多い
- ・西部圏域には拠点病院がない(空白)



がん診療連携拠点病院及び特定領域がん診療連携拠点病院

資料3-1-①

※診療の割合欄中、[]内は大阪市基本保健医療圏に対する割合

都道府県 申請区分	申請区分	病院名	年間入院患者数の状況		院内がん登録	手術件数(臓器別手術件数は4ヶ月分)														がんに係る化学療法	放射線治療	診療の割合	緩和ケア	がん相談支援センター
			入院患者数	がん患者数		消化器	泌尿器	呼吸器	循環器	神経系	皮膚科	小児科	産科	その他	消化器	泌尿器	呼吸器	循環器	神経系					
大阪府	1	大阪府立成人病センター	6,173	664	(3,363)	(2,710)	(22)	(48)	(27)	(39)	(108)	(10)	(9)	(11)	(12)	(4)	(33)	(11)	20,395	(1,265)	(4.3)	(11)	(68)	
	2	現況 大阪大学医学部附属病院	5,532	29.5	2,143	1,763	35	23	2	35	41	28	59	46	25	7	20	93	3,579	823	10.8	12	198	
大阪府	3	大阪医科大学附属病院	5,171	35.2	(2,322)	(1,681)	(11)	(32)	(13)	(38)	(40)	(4)	(103)	(40)	(13)	(11)	(16)	(5)	(6,007)	(564)	(27.2)	(54)	(675)	
	4	現況 関西医科大学附属枚方病院	5,917	31.6	2,031	1,824	10	22	15	23	30	5	104	33	0	4	26	71	2,125	654	24.5	19	656	
大阪府	5	近畿大学医学部附属病院	5,568	(27.7)	(2,449)	(2,868)	(24)	(40)	(20)	(38)	(59)	(31)	(27)	(22)	(12)	(2)	(86)	(85)	(7,615)	(857)	(17.2)	(34)	(109)	
	6	現況 大阪市立大学医学部附属病院	5,268	25.4	2,595	2,673	28	79	12	17	37	15	38	29	8	0	73	83	6,764	729	16.3	21	218	
大阪府	7	大阪府立成人病センター	5,579	(29.5)	(2,589)	(3,008)	(4)	(27)	(16)	(20)	(36)	(14)	(36)	(27)	(9)	(14)	(9)	(16)	(6,369)	(733)	(6.5)	(20)	(141)	
	8	現況 大阪赤十字病院	5,949	31.6	2,741	3,127	7	27	20	13	22	5	37	36	11	3	12	60	5,889	1,029	6.9	9	111	

がん診療連携拠点病院及び特定領域がん診療連携拠点病院

資料3-1-①

都道府県 or 地域 or 申請 区分 or 特定 領域	病院名	年間入院患者 数の状況		院内が ん登録	手術件数（臓器別手術件数は4ヶ月分）															がん に係る 化学 療法	放射 線 治療	診療の 割合	緩和ケ ア	がん相 談支 援 セン ター		
		年間 入院 患者 数の 状況	年間 入院 患者 数の 状況		胃がん			大腸がん			肺癌			乳がん			のべ 手術 件数 (1000人 当たり)	のべ 手術 件数 (200人 当たり)	がん 診療 の 割合 (%)						緩和 ケア の 割合 (%)	がん 相 談 支 援 セン ター の 数 (4月 分)
		手術 件数	手術 件数		胃 がん	大 腸 がん	肺 がん	乳 がん	胃 がん	大 腸 がん	肺 がん	乳 がん	胃 がん	大 腸 がん	肺 がん	乳 がん										
7	現況 市立中央病院	3,957	12.1	(2,012)	(1,003)	(2)	(9)	(23)	(65)	(27)	(22)	(10)	(67)	(4)	(6)	(6)	(49)	(3,073)	(123)	(6.6)	(22)	(274)				
		3,905	22.5	1,935	1,250	0	31	30	10	23	10	53	11	1	2	9	41	1,915	281	17%	16	595				
8	現況 東大阪市立総合病院	(1,474)	(13.7)	(1,186)	(632)	(5)	(14)	(18)	(3)	(14)	(16)	(24)	(93)	(8)	(1)	(0)	(54)	(1,280)	(270)	(18.4)	(54)	(277)				
		1,963	16.8	967	735	0	12	19	5	22	22	28	103	6	0	0	57	1,466	253	26.0	32	311				
9	現況 八尾市立総合病院	(3,408)	(33.7)	(745)	(619)	(0)	(2)	(15)	(6)	(14)	(15)	(35)	(74)	(0)	(1)	(12)	(45)	(3,010)	(222)	(6.5)	(14)	(294)				
		3,242	31.6	761	133	3	16	10	8	27	4	41	2	10	0	13	35	2,574	331	20%	20	342				
10	現況 大阪南医療センター	(3,594)	(39.3)	(1,016)	(508)	(0)	(0)	(8)	(15)	(14)	(3)	(30)	(5)	(1)	(1)	(11)	(18)	(1,266)	(145)	(23.3)	(24)	(266)				
		2,584	28.2	872	410	0	0	10	12	11	8	36	21	5	0	10	14	1,176	144	15.5	12	286				
11	現況 大阪市立総合医療センター	(3,164)	(19.0)	(3,652)	(1,745)	(0)	(0)	(24)	(64)	(27)	(14)	(62)	(10)	(12)	(6)	(24)	(57)	(4,575)	(362)	(2.5)	(22)	(120)				
		2,666	10%	1,703	1,315	0	0	17	16	23	23	35	25	0	5	16	57	2,074	355	18%	10	597				
12	現況 堺市立総合医療センター	(3,807)	(32.6)	(1,005)	(1,139)	(0)	(15)	(14)	(8)	(19)	(6)	(22)	(46)	(8)	(0)	(8)	(36)	(1,294)	(332)	(28.2)	(56)	(111)				
		4,395	34.1	1,044	1,226	2	17	11	8	14	5	19	49	1	0	5	22	1,445	281	32.7	17	73				

がん診療連携拠点病院及び特定領域がん診療連携拠点病院

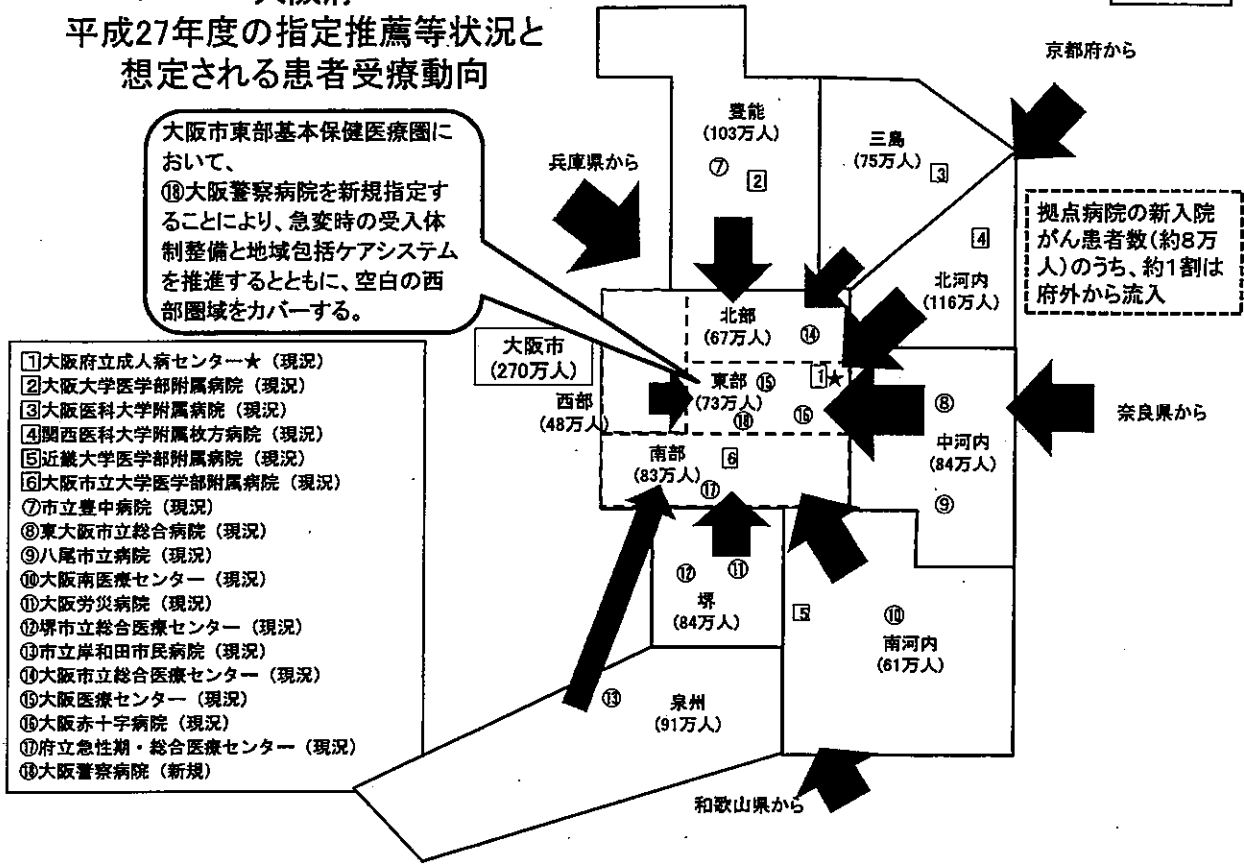
資料3-1-①

※診療の割合欄中、[]内は大阪市基本保健医療圏に対する割合

都道府県 or 地域 or 申請 区分 or 特定 領域	病院名	年間入院患者 数の状況		院内が ん登録	手術件数（臓器別手術件数は4ヶ月分）															がん に係る 化学 療法	放射 線 治療	診療の 割合	緩和ケ ア	がん相 談支 援 セン ター		
		年間 入院 患者 数の 状況	年間 入院 患者 数の 状況		胃がん			大腸がん			肺癌			乳がん			のべ 手術 件数 (1000人 当たり)	のべ 手術 件数 (200人 当たり)	がん 診療 の 割合 (%)						緩和 ケア の 割合 (%)	がん 相 談 支 援 セン ター の 数 (4月 分)
		手術 件数	手術 件数		胃 がん	大 腸 がん	肺 がん	乳 がん	胃 がん	大 腸 がん	肺 がん	乳 がん	胃 がん	大 腸 がん	肺 がん	乳 がん										
13	現況 市立和田山病院	(1,907)	(23.4)	(1,201)	(636)	(2)	(10)	(10)	(7)	(19)	(11)	(10)	(10)	(0)	(0)	(10)	(31)	(1,003)	(300)	(6.7)	(12)	(396)				
		2,228	25%	1,140	774	1	14	10	7	19	5	10	3	7	0	5	37	1,012	351	20%	0	1307				
14	現況 大阪市立総合医療センター	(5,562)	(26.4)	(2,446)	(1,290)	(14)	(32)	(2)	(37)	(35)	(6)	(58)	(25)	(4)	(18)	(19)	(42)	(7,713)	(737)	(6.8)	(220)	(239)				
		5,962	26.2	2,670	1,844	11	57	1	42	30	17	53	461	8	18	28	41	2,642	805	7.2 [29.7]	82	256				
15	現況 大阪医療センター	(3,522)	(24.7)	(1,466)	(1,534)	(2)	(10)	(15)	(11)	(23)	(8)	(65)	(15)	(0)	(5)	(16)	(62)	(3,381)	(498)	(3.7)	(64)	(423)				
		4,625	34.8	1,459	1,205	0	11	20	10	21	1	60	186	0	7	17	24	2,563	380	4.3 [11.0]	37	595				
16	現況 大阪赤十字病院	(5,751)	(28.3)	(2,498)	(1,298)	(7)	(16)	(1)	(41)	(45)	(8)	(51)	(6)	(4)	(8)	(30)	(40)	(3,454)	(575)	(5.6)	(36)	(212)				
		6,113	27.4	2,138	1,659	6	33	0	39	44	14	58	86	11	10	57	44	3,388	580	6.0 [22.7]	23	467				
17	現況 府立急性期総合医療センター	(4,134)	(22.7)	(1,970)	(1,443)	(3)	(11)	(26)	(9)	(30)	(20)	(35)	(327)	(6)	(2)	(33)	(33)	(4,455)	(428)	(7.2)	(56)	(1,949)				
		3,304	17.4	2,104	2,215	2	8	14	8	21	6	46	41	0	1	25	33	4,192	448	5.6 [17.9]	32	796				
18	新規 大阪警察病院	4,490	29.7	1,584	1,936	3	34	5	21	38	2	49	39	4	1	16	48	3,544	397	8.1 [22.8]	40	296				

大阪府 平成27年度の指定推薦等状況と 想定される患者受療動向

資料4



大阪府の拠点病院推薦にあたっての考え方

資料5

大阪府の地域特性	
府の人口 約885万人	患者の移動
□総がん患者数 約9万人⇒ 全国の約6%	□2次医療圏を基本としつつも、交通の利便性と医療機関の専門性により大阪市周辺から大阪市などに患者が移動
□2次医療圏の平均人口 約110万人⇒ 全国平均の約3倍	□新入院がん患者数(約8万人)のうち約1割が府外から流入
□1拠点病院あたりの人口 約52万人⇒ 約2倍	病院機能
□1拠点病院あたりの医療機関数 約520機関⇒ 約2倍	□1拠点病院あたりの手術件数 1,680件
死亡率 83.8⇒ 全国40位 ※75歳未満・人口10万人対	

<整備方針> 2次医療圏を基本としつつ、面で支えるがん医療提供体制の構築

がん拠点病院の役割分担	大阪府独自の地域連携体制
<ul style="list-style-type: none"> ○府立成人病センターと5大学病院 府内全域への高度先進医療の提供と人材育成等 ○地域がん診療連携拠点病院 二次医療圏毎の地域におけるがん医療の拠点 	<ul style="list-style-type: none"> ○2次医療圏毎に国拠点病院が中心となって運営 (がん診療ネットワーク協議会) 連携バス、緩和ケア、相談支援、情報提供、がん登録、検診等に関する課題・解決に向けた議論や取組み

【大阪市医療圏(人口270万人)の課題】 拠点病院数:6か所(うち特定機能病院2) ⇒ 北部1+南部2+東部3+西部0

□大阪府は、高齢化が他府県よりも早いスピードで進む(75歳以上人口:2010年約84万人→2025年約153万人(約70万人・81%増⇒全国の9%))ため、地域包括ケアシステムの整備が急務。とりわけ、人口が密集し高齢者のみの世帯が多く、高齢化が進む大阪市においては、在宅がん患者の急変時の受け入れ対応など24時間診療体制整備が重要。

□西部圏域(人口48万人)には、地域がん拠点病院を担うことのできる病院がなく、空白地帯となっているため、交通アクセスがよく高度・専門的ながん医療を提供する病院が集積している隣接の東部圏域に患者が流出しており、医療へのアクセスを改善する必要がある。 ⇒ 新入院患者の比較(1病院当たり): 北部+南部 5,000人<東部 6,500人

推薦病院:大阪警察病院

○病院概要

・規模 580床 31診療科
 ・地域医療支援病院
 ・DPC対象病院(Ⅱ群)

・ER救命救急センター(3次救急)
 ・災害拠点病院:DMAT整備
 ・社会福祉法第二種(無料・低額)診療施設
 ・大阪府肝炎専門医療機関

・新入院患者数:15,139人
 ・外来延患者数:463,544人
 ・救急患者数:12,033人(うち時間外8,785人)
 ・紹介率:60%・逆紹介率:100%

がん医療における特長

- | | |
|---|--|
| <p>①新入院患者数に占めるがん患者の割合が高い(30%)
 ②悪性腫瘍手術件数が大学病院に次いで多い(約2,000件)
 ③5大がん以外のがん疾患の高いシェア率(甲状腺など)
 ④緩和ケア外来や近隣の緩和ケア病棟と連携した切れ目のない緩和ケアを提供
 ⑤無料低額診療等による経済的対応やがん情報提供、就労支援など幅広くキメ細かい相談支援を実施
 ⑥地域のカバー率も高い(約23%)</p> | <p>⑥病院・在宅・訪問等との積極的な連携による在宅医療の支援とオンコロジーエマージェンシー体制(夜間・休日24時間受入)
 ・年間新入院がん患者数4,490人のうち緊急入院は1,101人(25%)であり、高齢者の緊急入院がん患者を多数受入(75歳以上516人)
 ・在宅患者の緊急入院時は、退院調整看護師が関係者間を調整し、迅速でスムーズな受入を実現</p> |
|---|--|

がん医療の確かな実績と安心の地域医療に大きな貢献 ⇒ <大阪市東部圏域> 大阪警察病院を指定推薦

指定による相乗効果

1 在宅がん患者の急変時受入れなど24時間診療によるがん診療連携体制の充実及び地域包括ケアシステムの推進

○指定により、患者の生活圏内での病病・病診連携が推進され、生活圏で最期を迎える「支える医療」が提供できる、がん診療連携体制の充実と地域包括ケアシステムの推進に寄与

2 拠点病院のない大阪市西部圏域の患者受入れの拡大

○指定により、既指定病院の患者集中を和らげ、東部だけでなく西部圏域の患者も広くカバーする役割を担うことにより、住民のより身近な地域で高度な医療を提供することが可能

長 崎 県

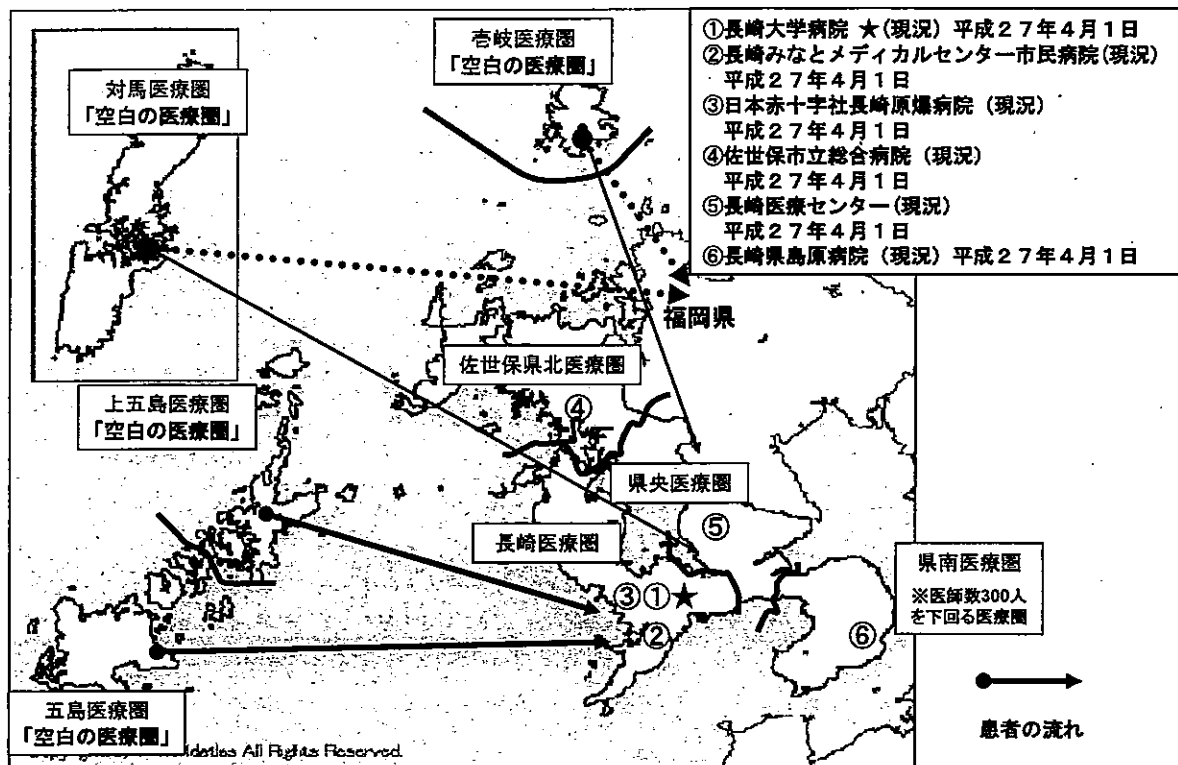
資料 1

長崎県 2次医療圏の概要

平成27年9月1日現在

2次医療圏名	面積 (km ²)	人口	人口 割合(%)	人口密度	病院数	がん診療連携拠点病院			特定領域がん診療 連携拠点病院			地域がん診療病院			
						現況報告 病院数	今回更新 病院数	新規申請 病院数	現況報告 病院数	今回更新 病院数	新規申請 病院数	現況報告 病院数	今回更新 病院数	新規申請 病院数	
長 崎	698	532,734	38.7	763.3	56	3									
佐世保県北	825	321,672	23.4	390.0	38	1									
県 央	615	267,933	19.5	435.5	31	1		1							
県 南	460	135,743	9.9	295.3	17	1									
五 島	421	37,327	2.7	88.7	4										
上五島	239	22,141	1.6	92.5	1										
壱 岐	139	26,994	2.0	194.8	6										
対 馬	709	31,199	2.3	44.0	2										
計	4,105	1,375,743	100.0	335.1	155	6	0	1	0	0	0	0	0	0	0

長崎県 平成27年9月1日現在の指定状況と患者受療動向 資料2

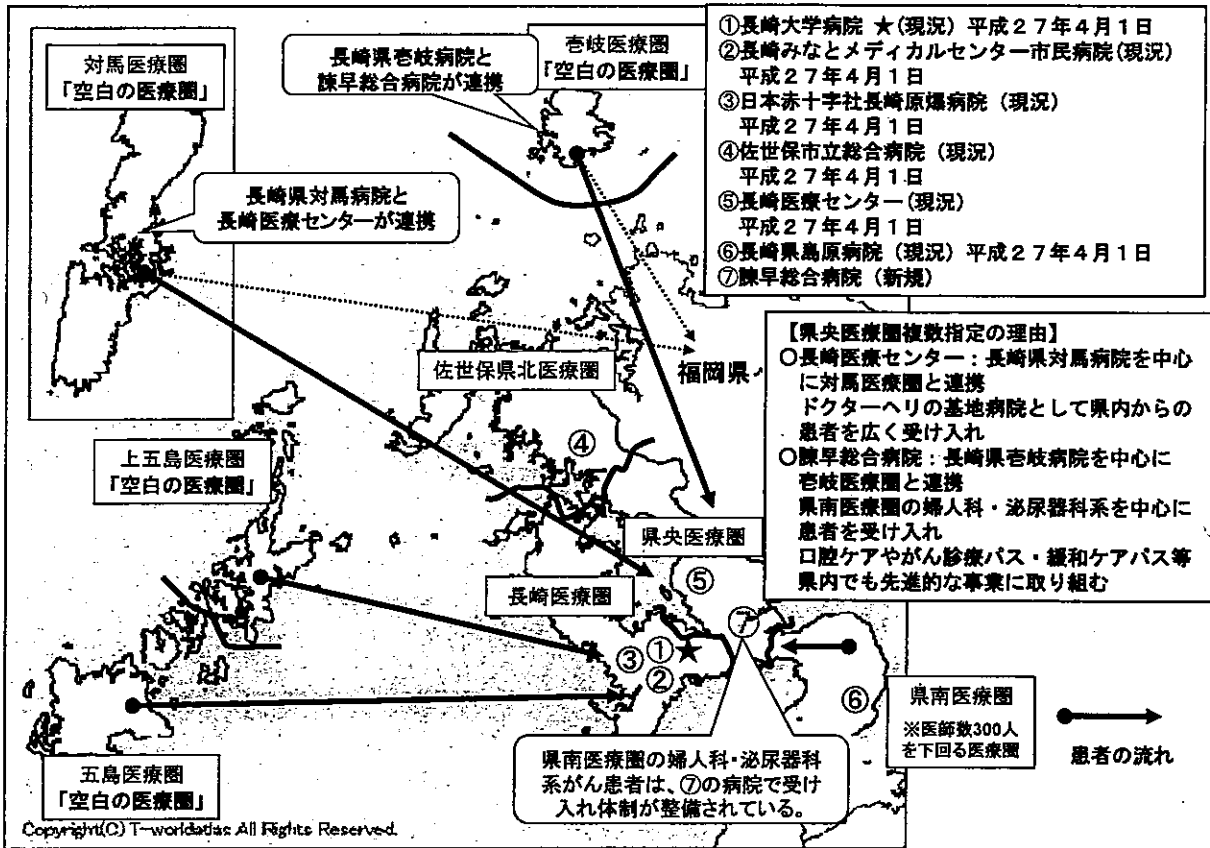


がん診療連携拠点病院及び特定領域がん診療連携拠点病院

資料3-1-①

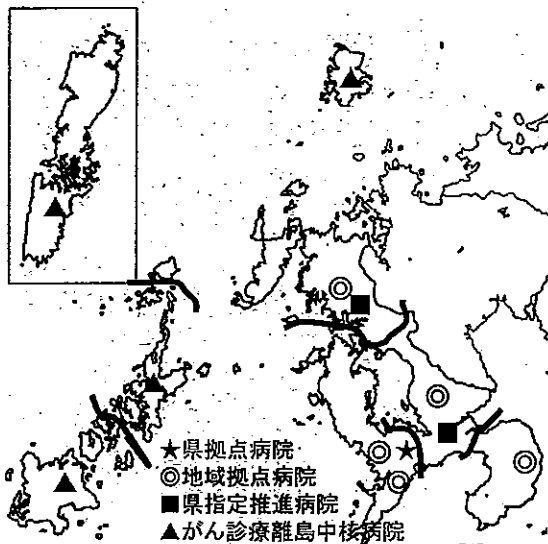
- ・ () 内は平成26年10月末日提出の数値、下段は平成27年10月末日提出の数値
- ・ 申請区分は資料4の作成要領を参照のこと
- ・ 1枚につき11病院を超える場合には、複数枚にわたって表を作成してください。
- ・ ※1については、ESD+EMRの合計数を記載すること。

県 ・ 申 病 地 域 ・ 区 ・ 特 定	申請区分名	年間入院患者数の状況										手術件数(臓器別手術件数は4ヶ月分)										がんに係る化学療法		診療の割合		緩和ケア		がん相談支援センター	
		がん		がん		がん		がん		がん		がん		がん		がん		がん		がん		がん		がん					
		26年	27年	26年	27年	26年	27年	26年	27年	26年	27年	26年	27年	26年	27年	26年	27年	26年	27年	26年	27年	26年	27年	26年	27年				
2	現況 長崎市民	(1,727)	(2,032)	(28.0)	(26.5)	(935)	(848)	(1)	(18)	(2)	(10)	(12)	(3)	(22)	(93)	(9)	(1)	(13)	(15)	(2,275)	(224)	(13)	(42)	(151)					
3	現況 長崎医療	(2,171)	(2,829)	(35.7)	(30.9)	(1,033)	(864)	(0)	(2)	(2)	(10)	(15)	(6)	(31)	(60)	(10)	(2)	(0)	(2)	(3,002)	(230)	(10)	(10)	(100)					
4	現況 佐世保	(3,720)	(3,864)	(29.4)	(29.6)	(1,544)	(1,294)	(0)	(28)	(14)	(6)	(36)	(16)	(44)	(24)	(2)	(3)	(17)	(21)	(6,021)	(460)	(44)	(34)	(204)					
5	現況 長崎医療	(4,000)	(3,746)	(28.0)	(26.1)	(1,430)	(1,130)	(49)	(28)	(10)	(24)	(27)	(11)	(40)	(69)	(7)	(2)	(22)	(24)	(4,883)	(491)	(67)	(24)	(211)					
6	現況 島原	(1,723)	(1,528)	(37.7)	(33.5)	(634)	(667)	(0)	(0)	(9)	(5)	(5)	(22)	(13)	(9)	(0)	(0)	(0)	(17)	(1,273)	(212)	(72)	(42)	(287)					
7	新規 島原	(1,843)	(1,935)	(23.0)	(22.5)	(1,062)	(789)	(446)	(10)	(6)	(1)	(14)	(23)	(2)	(22)	(0)	(0)	(0)	(18)	(2,706)	(204)	(42)	(3)	(67)					



今回の指定推薦に係る長崎県の考え方

資料5



「空白の医療圏」への対策

- がん診療の均てん化を図るため、離島地域の医療圏には、第一期「長崎県がん対策推進計画」策定時に地域の中核病院を「がん診療離島中核病院」と位置づけた。
- 「県医療計画」及び「県がん対策推進計画」において、地域拠点病院を中心とする「地域がん診療連携協議会」を設置し、がん診療に関する研修会等の企画・運営を行うこととした。
併せて地域の医療機関や介護施設等との連携等により、地域全体のがん医療水準の向上を図ることとしている。

「諫早総合病院の概要」

- 323床・19診療科目を持ち、諫早市の中核病院として住民や患者のニーズに副った医療を提供してきている。平成24年に放射線治療装置の整備や病理専門医の常勤化、緩和医療チームの立ち上げや院内がん登録の推進等、県指定推進病院としてがん診療連携拠点病院と同等の体制整備に努め、県のがん医療の推進に貢献している。

「県央医療圏の患者動向」

- 大村市の長崎医療センターは大村市、東彼杵郡、県南地区の一部を、島原病院は島原市、雲仙市・南島原市の一部を、諫早総合病院は諫早市、雲仙市・南島原市の一部を背景医療地域としている。この3つの医療機関は手術、化学療法、放射線治療、緩和ケア、終末期ケア等を患者毎の利便性を尊重しながら連携して医療を提供している。
- 県南医療圏は医療資源に限りがあるため、患者は隣接する諫早市に向かう傾向にある。地理的特性や公共交通基盤が脆弱な地域であることを鑑み、限られた医療資源で質が高いがん診療の均てん化を図るためには、患者の流れに即した医療機関の連携が求められている。

「がん医療提供での役割」

- 全国の地方においては、外科・産科系医師が不足しており、長崎県内でもその傾向は顕著である。
県南医療圏には産婦人科常勤医が勤務するがん診療医療機関がなく、平成27年4月からは泌尿器科医の常勤医も不在となった。当該診療を担う長崎大学も県南医療圏の患者の受け入れは隣接する医療圏である諫早市の諫早総合病院や大村市の長崎医療センターで対応する方針を示している。
- 県央・県南医療圏では医療機関内に歯科口腔外科を標榜しているのは、諫早総合病院のみであり、がん治療患者に対する口腔ケアを入院・外来のいずれでも対応しており、院外からの紹介にも応じている。がん治療患者、特に化学療法を予定している患者における口腔ケアの重要度が増してきている今日、口腔ケアの普及が遅れているため、諫早総合病院を中心とした他医療機関との連携を図り、両地域でのがん患者への口腔ケアの普及を推進していく。
- 諫早総合病院はがん連携パスの運用に積極的に取り組んできた経緯があり、県下では最も多い運用実績を挙げている。このパスの運用にて築いた地域医療機関との関係を発展させ、「緩和ケアパス」の運用を開始している。地域に緩和ケアを普及させ、がん患者の在宅診療体制を整備するうえで、県のモデルケースとなり得る実績を有しており、がん診療の空白の医療圏である離島地域での普及に際し大いに役立てられる事例である。
- 県央医療圏は圏内に長崎空港があり、離島地域からの患者の受け入れ体制が整えられている。

「拠点病院となることでのがん診療推進への効果」

- 県央医療圏は県内人口の2割、諫早市は人口の1割を占める地域であり、諫早市に位置する諫早総合病院は入院患者に占める圏内患者割合が7割、残りを県南医療圏等の患者が占めている。
他の拠点病院と比較した新規がん患者数、手術件数等においても、約1割を占める医療機関である。
- 長崎県民のがんへの罹患患者数及び死亡者数は全国より高齢化が進んでいることもあり、がん検診による早期発見・早期治療の啓発活動を行っても新規罹患患者数は減少傾向に向かわない状況である。既存のがん診療連携拠点病院での受入態勢も飽和状態にあるため、がん患者が手術等の処置を終えた後も安心して通院が可能な地域へのがん診療の拠点となる施設の指定は在宅医療との連携を構築するうえで不可避である。
- 県が指定するがん診療連携拠点病院に準じる施設として、拠点病院並みの体制を整備しているとともに、長崎医療センターや県南医療圏の医療機関とも連携し、がん診療の提供に努められている。県央・県南医療圏において、それぞれの役割分担をすすめ、治療の面においても症例の集約化が図られ、患者に対しより充実したがん診療を提供されることが期待され、長崎県内の質が高く均てん化が図られた医療提供体制が一層推進されるものと期待される。